# 第 1 章　2022 年度事業報告


概要 ---------- 1

1　活動報告 ---------- 1

2　会議・会合 ---------- 3

3　会員 ---------- 7

4　表彰 ---------- 7

5　粉体工業展 ---------- 8

6　常置委員会 ---------- 12

7　分科会 ---------- 20

8　粉体工業技術センター ---------- 28

9　技術情報交流懇話会 ---------- 29

10　共催・協賛及び後援行事 ---------- 30

11　刊行物 ---------- 31

# 第1章　2022 年度事業報告

自　2022 年 4 月　1　日
至　2023 年 3 月 31 日

（2023 年 5 月 11 日理事会承認済）

## 概　要

我が国の 2022 年 10－12 月期 の実質 GDP（国内総生産）成長率は、前期（同 7～9 月）比プラス 0.02%とほぼゼロ成長にとどまり、日本経済の回復力の鈍さが改めて確認されました。また、2023 年 4 月の日銀短観では世界経済の減速や原材料価格の高止まりなどから、大企業・製造業で業況判断指数が 5 四半期連続で悪化しました。

このような状況下、当協会では2022年度からスタートした「第 3 期 中期運営計画（2022～2024 年度）」に沿って精力的に活動を行い、その初年度として、期初に計画した方針および予算に基づき事業計画を遂行することができました。

主な事業としては、国際粉体工業展東京2022を 2022 年 12 月 7 日(水)～12 月 9 日(金)、東京ビッグサイトにて開催しました。2021 年の国際粉体工業展大阪2021同様、リアル展、オンライン展を併行したハイブリッド型展示会を採用し、期初の予算を上回る収益を確保できました。また、当協会の柱となる分科会活動においても、コロナ禍の影響からの十分な回復が見られ、2022年度の開催回数、参加者総数はコロナ禍前の水準を達成できるなど、様々な活動において十分な活気を取り戻す事ができました。なお、会員数は 2023 年 3 月末で 416（2022年度末 415）でした。

以下に 2022 年度事業の概要を報告します。

## 1.活動報告

### 1-1 調査・研究事業（分科会、分科会運営、技術）

14 の単位操作・常置型分科会と 7 の目的指向・プロジェクト型分科会の合計 21 の分科会が、延べ 60 回（合同 6 回）の分科会本会合、59 回の幹事会を開催しました。コロナ渦の影響を受け年度当初は開催が鈍りましたが、夏以降に各分科会が工夫を凝らし積極的に活動を進め、今年度の開催回数は前年度の 33 回から倍増し、参加者総数は、2,019 名（前年比 50%増）となりコロナ禍前の水準となりました。また、海外での分科会活動として、晶析・微粒子ナノテクノロジー・粒子加工・粉体シミュレーション技術利用の各分科会が合同で、ACHEMA2022 会期中にハイブリッド式講演会を開催しました。粉砕分科会は GIS Taipei Tech Convention Center において日台ワークショップと見学会を開催しました。

教育部門では、単位操作・常置型分科会が中心となり、6 回の粉体技術者養成講座が開催され、粉体ハンドリング分科会企画の専門講座が「粉体ハンドリング技術～粉体物性・供給・輸送・粉体プロセス～」をテーマとして 2 月に開催されました。

技術委員会の活動では、AI 技術利用委員会が昨年と同様に 2 回の委員会を実施しました。いずれの回も「粉体プロセスとデータサイエンス」をテーマに講演を行いました。同時に開催する AI ソフトウェア実習講座も今年度で 3 回目となり充実しつつあります。また、国際粉体工業展東京2022 において、AI 技術利用に関するセミナーを開催し、「新たな価値創造に向けた DX の本質」をテーマに講演を行いました。

国際粉体工業展東京2022の主催者コーナーに、21 分科会が近未来技術を中心にポスター展示を行いました。また、併催イベント「粉体機器ガイダンス」を開催し、「輸送」、「混合・成形」、「湿式プロセス」および「晶析」分科会は機器基本原理と機器選定などの概要説明と機器紹介を行ないました。

### 1-2 広報・普及事業（総務、「粉体技術」誌編集、総覧発行、セミナー・フォーラム）

（1）セミナー・フォーラム

国際粉体工業展東京2022の併催行事として、最新情報フォーラム、各種セミナー、粉体機器ガイダンスなどを開催しました。注目度の高いテーマにスポットを当てた「最新情報フォーラム」、粉体の基礎を分かりやすく解説する「粉体工学入門セミナー」など、いずれも最近話題となっているテーマであり、多数の参加者を得て、技術情報の提供や協会活動の広報・普及に努めました。

（2）技術情報の発信

各種技術情報は分科会会合や専門講座、セミナー、フォーラム、粉体工業技術センター 教育部門の講座を通じて発信されていますが、ホームページ、メールマガジンおよび月刊誌「粉体技術」も重要な発信源となっています。

ホームページ平均アクセス数: 11,735 件/月（前年 12,839 件/月）
メルマガの平均発信数: 60,116 件/月（前年 63,716 件/月）

（3）「粉体技術総覧 2022/2023」の発行

国際粉体工業展東京と連動して隔年発刊している粉体技術総覧を今回も紙媒体および Web 版にて発行しました。本総覧は粉体機器をはじめ粉体技術や技術的な問合せ先、業務委託先など幅広い情報を網羅しています。製品や技術が分類ごとに掲載され、Web 版ではフリーワードやメーカー名などで多様な検索ができるようになりました。

(4)技術相談

国際粉体工業展東京2022では「技術相談コーナー」を開設し、3 日間で 延べ 39 件(前回、2020 年は 17 件)の相談を受けました。

### 1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

粉体工業分野における粉体技術の継承、専門技術者の育成と継続的教育および粉体工業に関係する人材のスキルアップを目的として、2022 度は以下の講座、セミナーを開催しました。

・粉体入門セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)【Web】
・粉体技術者養成講座(6 講座)【一部 Web】
・粉体技術専門講座(粉体ハンドリング分科会)
・粉じん爆発・火災安全研修(初級基礎編)【Web】
・粉じん爆発・火災安全研修(中級技術編)【Web】

開催回数は 12 回であり、総参加者数は 456 名でした。

### 1-4 規格・標準化事業(標準粉体、規格、粉じん爆発)

・標準粉体委員会

標準粉体委員会は 2 回会議を開催しました。JIS Z 8901 試験用粉体1の粒子径分布測定法については、沈降天秤法による測定を継続し、JIS 改定は行わないことで決定しました。一方、SAP 試験用粉体 3 は、ISO 規格の議論が遅れているため早急に対応する必要が無くなりました。

・規格委員会

規格委員会は、ISO 規格、JIS および協会規格(SAP)の規格管理や規格開発に関する情報収集を行うとともに規格の公開を行いました。また、JIS 公募事業に 3 件応募しました。

・粒子特性評価委員会

粒子特性評価委員会は、規格開発プロジェクト 3 件が経済産業省委託事業として採択され、粒子特性評価の測定解析手順の確定に向けて ISO 規格開発活動を行いました。

・ふるい委員会

ふるい委員会は、試験用ふるいおよび工業用ふるいを用いて粒子をふるい分け測定検査する手順の確定に向けて ISO 規格開発活動を行いました。

・集じん技術委員会

集じん技術委員会は、規格開発プロジェクト 3 件が経済産業省委託事業として新規に採択され、空気およびその他ガスの清浄装置の試験方法の手順の確定に向けて ISO 規格開発活動を行いました。

・粉じん爆発委員会

粉じん爆発委員会は 1 回オンライン、2 回ハイブリッド会議と、粉じん爆発・火災安全研修【初級】および【中級】(オンライン配信)を開催しました。

### 1-5 海外交流事業(海外交流)

グローバル化における情報通信、世界情勢と知財管理の世界動向をテーマに、海外情報セミナーを企画し国際粉体工業展東京2022において開催しました。

海外行事関連では、下記の海外展示会に出展しました。

・KOREA CHEM 2022(韓国、6/14-17)において協会の交換ブースに、POWTEX®開催案内と入会促進を展示し、入会促進のチラシを設置しました。
・POWTECH 2022(ドイツ、9/27-29)にて、POWTEX®開催案内と入会促進のポスター展示を行い、ウェブサイトへのバナー掲載、展示会カタログへの広告掲載を行いました。

### 1-6 展示会事業

国際粉体工業展東京2022をハイブリッド開催しました。

・開催期間: 2022 年 12 月 7 日(水)～ 9 日(金)
　　オンライン展示会 2022 年 11 月 21 日(月)～2023 年 1 月 27 日(金)
・開催場所: 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール
・開催規模: 253 社・ 団体／995 小間 (前回:152 社・団体／457 小間)
・来場者: リアル展 11,257 名、オンライン展 6,424 名 (前回 5,060 名)

### 1-7 標準粉体製造頒布事業(製造事業部門)

売上、営業利益とも、2022 度後半よりコロナ禍の影響からの回復が見られ、期初の計画を達成することが出来ました。委託加工会社からの要請を受け、標準粉体販売価格を平均で 15%値上げし、会員向け優遇価格を定価の

20%引きに改定しました。また、関東ローム 11 種は新しく JIS 規格相当品として販売を開始しました。

### 1-8 会員共益事業（技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成）

・技術情報交流懇話会

火曜会（東京 4 回）、水曜会（名古屋 3 回）、木曜会（大阪 3 回）、金曜会（福岡 2 回、 広島 1 回）、合計 13 回 741 名（前年 470 名）の参加がありました。

・推薦審査委員会

分科会功労賞、委員会・部門功労賞、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者表彰、個人会員・会友の入会の推薦を会長に答申し理事会で承認されました。

・人材育成委員会

若手のつどいは、Web1 回、現地 3 回、合計 4 回開催し参加者は合計 113 名でした。
また、国際粉体工業展東京2022の併催イベントとして「学生ツアー・交流会」を 2022 年 12 月 7 日に開催しました。参加者は 51 名（企業 37 名、学校 14 名）でした。

## 2. 会議・会合

### 2.1 第 41 回定時総会

日 時:2022 年 5 月 24 日（火） 開始午後 1 時
場 所:東京ガーデンパレス 2階 高千穂の間
出席者:出席正会員総数 290 名 （出席:249 名、議決権行使個数:41 名） 正会員総数:406 名
定刻午後 1 時に、当協会定款第 15 条に従い、山田幸良代表理事会長が議長となり、開会を宣言し、議事に入った。
議長より、当日 2022 年 5 月 24 日現在、当協会の議決権を有する正会員総数は 406 名（議決権総個数 406 個）に対し、当日出席正会員 249 名（当日議決権個数 249 個）、議決権行使書面提出者 41 名（書面議決権行使個数 41 個）、合計 290 名（議決権総個数 290 個）となり、出席者数は当協会定款17条1項に定める定足数、すなわち過半数の出席を得ていることにより、本総会が有効に成立する旨の報告があった。

引続き、議案書に基づき、報告事項 2 件の報告と決議事項 2 件の議案審議に入った。

報告事項1:2021 年度事業報告ならびに 2022 年度事業計画および予算
題記の件につき、前田孝善専務理事より、第 41 回定時総会参考資料に基づき夫々説明があった。
2021 度事業報告については、同資料 1 頁“第 1 章 2021 年度事業報告”に基づき、5 つの公益目的事業（調査・研究事業、広報・普及事業、人材育成・教育事業、規格・標準化事業および海外交流事業）と 3 つのその他事業（展示会事業、標準粉体製造頒布事業および会員共益事業）の報告があった。

さらに、法人会員数の推移および 2021 年度末時点での法人会員数について説明があった。

2022 年度事業計画については、同資料 42 頁“第 3 章 2022 年度事業計画”に基づき、第 3 期中期運営計画（2022 年～2024 年）の 5 つの重点活動目標（1. 分科会活動の活性化 2. 新しい展示会の展開 3. 広報の改革 4. 国際化の推進 5. 組織の強化 ）と、当該計画予算の説明があった。

2022 年度予算については、同総会参考資料 60 頁 “第 4 章 2022 年度予算”に基づき、経常収益は 490,004 千円、経常費用は 475,626 千円、および当期正味財産増減額は税引き後 14,238 千円の増加を見込んでいることが報告された。

報告事項2:2021 年度計算書類などに関する監査報告
渡部尚監事より監査報告があり、2021 年度における業務および財産の実施状況について監査を行なった結果、法令および定款に反する重大な事実は認められず適正であった旨の報告があった。

議長より、報告事項 1 および 2 について質疑を求めたところ、出席者からの意見、質問はなく報告どおり了承された。

決議事項
第1号議案:2021 年度正味財産増減計算書および貸借対照表の承認

題記につき、前田孝善専務理事より、2021 年度貸借対照表および正味財産増減計算書の承認の件ついて、第 41

回定時総会参考資料 33 頁“第 2 章 2021 年度決算報告(案)”に基づき説明があった。

正味財産増減計算書(33 頁)において、経常収益は 304,217 千円、経常費用は 317,910 千円となり、税引き後当期一般正味財産増減額は△13,833 千円(対予算比で 20,400 千円の増加)になり、その結果、正味財産期末残高は 478,146 千円となることが説明された。
貸借対照表(34 頁)の通り、資産は前年度比で 16,783 千円減少、負債は前年度比で 2,800 千円減少、その結果正味財産は前年度比で 13,983 千円の減少となった旨説明があった。

これらの説明に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 1 号議案は原案通り承認可決された。

第 2 号議案:理事 34 名および監事 3 名の選任
題記につき、議長より、第 41 回定時総会議案書別紙 3 頁“2022 年度－2023 年度 理事および監事候補者“につき説明があった。この提案に対して議長より一括承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 2 号議案は原案通り承認可決された。

第 3 号議案: 常勤理事に対する報酬の件
題記につき、議長より、第 2 号議案で承認可決された理事の内、専務理事に選出される者の報酬については、本会「役員報酬規程」に示す年俸限度額を上限とし、その具体的な金額などについては理事会に一任願いたい旨の提案があった。
この提案に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 3 号議案は原案通り承認可決された。

第 4 号議案:退任会長の退任慰労金の件
題記につき、前田孝善専務理事より、本総会をもって退任となる会長に対して、本会「謝礼に係わる規程」に基づき退任慰労金を贈呈することとし、その具体的な金額、贈呈の時期および方法などは理事会に一任願いたい旨の提案があった。
この提案に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 4 号議案は原案通り承認可決された。

以上で、第 41 回定時総会の議事はすべて終了し、午後 1 時 50 分に議長は閉会を宣言した。

引き続き、午後 3 時より協会賞および細川明彦・佐知子基金による粉体工業展賞の授賞式、ならびに粉体工業功績者表彰式が行われ(7 頁、**4. 表彰**を参照)、午後 4 時からは特別講演が行われた。

演題「ナノ粒子研究による産学連携と成功の鍵」
講師 広島大学名誉教授 奥山喜久夫氏

## 2.2 理事会

第 1 回理事会
日 時: 2022 年 5 月 12 日(木)午後 2 時～午後 3 時 45 分
場 所: ANA クラウンプラザホテル大阪(5 階 ガーデンルーム)・Web 会議
出席者:山田幸良会長、牧野尚夫・加藤文雄各副会長含め 理事 27 名、監事 2 名 合計 29 名
事務局:東京事務所長 1 名、経理課長 1 名、総務課長 1 名
議 事:
第 1 号議案:入、退会会員
第 2 号議案:委員会および分科会の人事変更
第 3 号議案:協会規定 4-6「特別顧問、名誉個人会員および会友に関する内規」および協会規定 6-3「分科会の運営に関する覚書」の一部改定
第 4 号議案:2022・2023 年度の理事および監事
第 5 号議案:2021 年度事業報告、決算報告および監査報告
第 6 号議案:2022 年度事業計画と中期運営計画の確認
第 7 号議案:ニュルンベルクメッセ中国(NMC)との相互協力契約締結の承認願い
報告事項 1:共催、協賛および後援行事
報告事項 2:海外展示会との相互協力契約締結
報告事項 3:国債買付け
報告事項 4:東京事務所長代理の変更(11 月 1 日付)

第 2 回理事会
日 時: 2022 年 5 月 24 日(火)午後 2 時～午後 2 時 30 分

場 所:東京ガーデンパレスホテル(2 階天空の間)・Web 会議
出席者:牧野尚夫理事を含め理事 29 名、監事 2 名 合計 31 名
議 事:
第 1 号議案 会長の選定
第 2 号議案 副会長および専務理事の選定
第 3 号議案 常務理事の推薦
第 4 号議案 技術情報交流懇話会(火、水、木、金曜会)担当理事の推薦
第 5 号議案 顧問および参与の推薦
第 6 号議案 常勤の専務理事に対する報酬
第 7 号議案 退任会長の退任慰労金

第3回理事会
日 時: 2022年8月2日(火)午後2時～午後2時45分
場 所: 東京ガーデンパレス (3階:平安の間)・Web会議
出席者:牧野尚夫会長・角井寿雄副会長含め理事26名、監事2名 特別顧問1名 合計29名
事務局:東京事務所長 1 名、総務課長 1 名
議 事:
第 1 号議案:入、退会会員
第 2 号議案:委員会・分科会の人事変更
第 3 号議案:協会規程「11-4 協会コーポレートアイデンティティに係る指針」の一部改定
第 4 号議案:事務局職員の給与改定
報告事項 1:共催、協賛および後援行事
報告事項 2:国際粉体工業展東京 2022 の予算
報告事項 3:特別協賛会費の申込み状況
報告事項 4:2023 年度協会主要行事日程(案)
報告事項 5:ニュルンベルグメッセとの相互協力契約締結
報告事項 6:委員会・分科会人事

第 4 回理事会
日 時:2022 年 11 月 24 日(水)午後 1 時～午後 2 時
場 所:ホテルグランヴィア京都(5 階 古今の間)・Web 会議
出席者:牧野尚夫会長・角井寿雄・村田博副会長含め理事 23 名、監事 2 名、特別顧問 1 名 合計 26 名
事務局:東京事務所長 1 名、総務課長 1 名
議 事:
第 1 号議案 入、退会会員
第 2 号議案 人事変更
第 3 号議案 2022 年度分科会功労賞、委員会・部門功労賞の選考
第 4 号議案 標準粉体頒布事業 価格の改定
第 5 号議案 海外分科会の実施
第 6 号議案 協会規則12－1「就業規則」の一部改定
第 7 号議案 国際粉体工業展大阪2023に係わる粉体工学会との覚書(案)締結
第 8 号議案 2023 年度協会主要行事日程
報告事項 1 国際粉体工業展大阪2023の計画概要
報告事項 2 インフォーマ(Informa PLC)との相互協力契約締結
報告事項 3 海外合同分科会の実施報告
報告事項 4 2023 年度新個人会員の推薦募集および入会審査のスケジュール
報告事項 5 2022 年度分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議の開催
報告事項 6 ワールドインシュアランスブローカーズ PL 保険の募集
報告事項 7 共催、協賛および後援行事
報告事項 8 代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告

第 5 回理事会
日 時:2023 年 3 月 16 日(木) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 5 分
場 所:ＡＮＡクラウンプラザホテル大阪(5階:ガーデンルーム)・Web会議
出席者:牧野尚夫会長、角井寿雄、村田博各副会長含め理事 26 名、監事 1 名、特別顧問 1 名 合計 28 名
事務局:東京事務所長 1 名、総務課長 1 名
議 事:

第 1 号議案　入、退会会員
第 2 号議案　委員会および分科会の人事変更
第 3 号議案　2023 年度の JIS 原案作成委員会設置
第 4 号議案　2023 年度の受託事業
第 5 号議案　協会賞受賞者、粉体工業功績者および細川明彦・佐知子基金による粉体工業展賞受賞者の選考
第 6 号議案　2023 年度の予算
第 7 号議案　第 42 回定時総会の招集
報告事項 1.　国際粉体工業展東京2022の決算報告
報告事項 2.　日本包装機械工業会との交換ブース覚書締結
報告事項 3.　共催、協賛および後援行事
報告事項 4.　理事の退任
報告事項 5.　代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告

### 2.3 秋期定例会合

日　時:2023 年 11 月 24 日(木)　午後 3 時 00 分～午後 7 時 00 分
場　所:ホテルグランヴィア京都(5 階　古今の間)
出席者:牧野尚夫会長、角井寿雄、村田博各副会を含め　合計 60 名
次　第:

1. 協会挨拶　代表理事会長　牧野尚夫
2. ご来賓式辞　経済産業省　製造産業局　産業機械課長　安田篤氏
3. 2022 年度協会事業の上半期実績報告　専務理事　前田孝善
4. 特別講演
   演題:建築環境工学の礎を築いた建築家・藤井厚二と 100 年前の最先端住宅「聴竹居」
   講師:一般社団法人聴竹居倶楽部　代表理事(株式会社竹中工務店　設計本部)
   松隈　章氏
5. 懇親会

### 2.4 分科会連絡会議

日　時:2023 年 1 月 20 日(金)　午後 1 時 00 分～午後 5 時
場　所:名鉄グランドホテル(11 階・柏の間)・Web 会議
出席者:牧野尚夫会長を含め 86 名
(司会進行:前田孝善専務理事、分科会運営委員会　奥山喜久夫委員長、浅井信義、鈴木康夫各副委員長)

1. 開会挨拶　代表理事会長　牧野尚夫
2. 分科会運営委員会委員長挨拶　委員長　奥山喜久夫
3. 協会からの連絡事項とお願い　専務理事　前田孝善
4. 分科会報告　各代表幹事
5. 第 18 回分科会功労賞、第 9 回委員会・部門功労賞表彰式　代表理事会長　牧野尚夫
6. 協会 HP 会員専用ページの紹介と英文 HP 改訂案内　総務委員会事務局
7. 情報交換会　各分科会・分科会運営委員会
8. 閉会挨拶　副会長　角井寿雄

第 18 回分科会功労賞は 10 名、第 9 回委員会・部門功労賞は 3 名の方々が受賞された(8 頁　**4.5 分科会功労賞、4.6 委員会・部門功労賞**を参照)。

会議終了後、分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議参加のメンバーによる懇親会と情報交換会が行われた。

### 2.5　委員会・部門連絡会議

日　時:2023 年 1 月 21 日(土)　午前 9 時 30 分～午後 2 時 15 分
場　所:名鉄グランドホテル(11 階　桂の間)・Web 会議
出席者:牧野尚夫会長を含め 32 名
(司会進行　専務理事　前田孝善)

1. 開会挨拶　代表理事会長　牧野尚夫
2. 協会からの報告と連絡事項　専務理事　前田孝善
3. 各委員会・部門の現状と 2023 年度の計画について　各委員会・部門代表
4. 全般討議(委員会運営に係わる全般事項等の討議)
5. 閉会挨拶　副会長　村田博

### 2.6　委員長連絡会

第 1 回　2022 年 9 月 15 日(木)　大阪・Web/出席者 15 名

### 2.7　諮問会議

第 1 回　(通算 74 回)　2022 年 4 月 22 日(金)　京都・Web/出席者 8 名
第 2 回　(通算 75 回)　2022 年 7 月 12 日(火)　東京・Web /出席者 8 名
第 3 回　(通算 76 回)　2022 年 10 月 19 日(水)　名古屋・Web /出席者 9 名
第 4 回　(通算 77 回)　2023 年 2 月 24 日(金)　京都・Web /出席者 8 名

### 2.8　監査

日　時:2023 年 4 月 24 日(月)
場　所:京都/協会本部会議室・Web
議　事:2022 年度正味財産増減計算書、貸借対照表の監査並びに業務監査

## 3. 会　員

### 3.1　会員数

| | 2021 年度終了時 | 2022 年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 入　会 | 退　会 | 終了時 |
| 正会員 | 407 | 10 | 8 | 409 |
| 法人会員 | 336 | 8 | 5 | 339 |
| 個人会員 | 71 | 2 | 3 | 70 |
| 準会員 | | | | |
| 法人会員 | 1 | | | 1 |
| 賛助会員 | 6 | 0 | 0 | 6 |
| 合　　計 | 414 | 10 | 8 | 416 |

(3/31 時点)

### 3.2　入会

1)法人会員(8 社)

㈱九州エアーテック　コトヒラ工業㈱　日揮㈱
林化成㈱　アイ・エム・マテリアル㈱　(株)フルヤ金属
(株)トヨックス　(株)ニッシン

2)個人会員(2 名)
渡邉　哲、森下あや子

### 3.3　退会

1)法人会員(5 社)
㈱サナス　㈱石川工場　日東金属工業㈱　日本精鉱㈱　㈱フジコー
2)個人会員(3 名)
福森義信、松本幹治、宮原稔

## 4.　表　彰

2022 年 5 月 24 日(火)、第 41 回定時総会に引続き、第 36 回協会賞授賞式、第 29 回粉体工業展賞、第 36 回粉体工業功績者の各表彰式を行った。 また、2023 年 1 月 20 日、分科会連絡会議の席上において、第 18 回分科会功労賞、第 9 回委員会部門功労賞の授与式を行った。

### 4.1　協会賞(第 36 回)

功労賞　細川悦男氏(ホソカワミクロン㈱)
技術賞　竹内洋文氏(岐阜薬科大学)

### 4.2　粉体工業展賞(第 29 回)〔細川明彦・佐知子基金補助〕

三宅康雄氏(ハカルプラス㈱)

### 4.3 粉体工業功績者表彰（第 36 回）

（表彰項目別・法人会員名簿順）

| No. | 所 属 名 | 氏 名 | 項目 | No. | 所 属 名 | 氏 名 | 項目 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 赤武エンジニアリング㈱ | 井上浩一 | 営業 | 16 | 太平洋エンジニアリング㈱ | 山本雅彦 | 技術 |
| 2 | 麻益㈱ | 竹本一隆 | 〃 | 17 | ㈱竹中工務店 | 谷英明 | 〃 |
| 3 | ㈱島津製作所 | 横山哲人 | 〃 | 18 | 東和制電工業㈱ | 小西忠男 | 〃 |
| 4 | 新東工業㈱ | 柴田隆一 | 〃 | 19 | ㈱徳寿工作所 | 諸星浩和 | 〃 |
| 5 | ㈱ダルトン | 堀新一 | 〃 | 20 | ㈱奈良機械製作所 | 大村幸正 | 〃 |
| 6 | 東洋ハイテック㈱ | 根本滝郎 | 〃 | 21 | ハカルプラス㈱ | 関口学 | 〃 |
| 7 | ㈱ネオス | 森川真樹 | 〃 | 22 | 明治機械㈱ | 森田健 | 〃 |
| 8 | ㈱パウレック | 岩根弘明 | 〃 | 23 | アイシン産業㈱ | 松本崇 | 生産 |
| 9 | アシザワ・ファインテック㈱ | 加藤厚宏 | 技術 | 24 | 日清エンジニアリング㈱ | 鈴木俊光 | 〃 |
| 10 | エステック㈱ | 久松正吉 | 〃 | 25 | 三興空気装置㈱ | 町田憲一朗 | 製造 |
| 11 | ㈱大川原製作所 | 小森勇弥 | 〃 | 26 | 中央化工機㈱ | 水野辰志 | 〃 |
| 12 | 大塚電子㈱ | 中串茂幸 | 〃 | 27 | ツカサ工業㈱ | 加藤寛 | 〃 |
| 13 | 集塵装置㈱ | 平方壽行 | 〃 | 28 | フルード工業㈱ | 森光男 | 〃 |
| 14 | 進和テック㈱ | 石橋慶太 | 〃 | 29 | フロイント産業㈱ | 森下友之 | 〃 |
| 15 | スペクトリス㈱ マルバーン・パナリティカル事業部 | 大北洋二 | 〃 | 30 | ホソカワミクロン㈱ | 濵浩明 | 〃 |

（表彰項目内訳：技術開発 14 名、営業活動 8 名、製造技術 6 名、生産活動 2 名　計 30 名）

### 4.4 特別感謝状

㈱シー・エヌ・ティ 田中雄治氏

### 4.5 分科会功労賞（第 18 回）

（氏名 50 音順）

| No. | 氏名 | 分科会名 | 所属先 |
|---|---|---|---|
| 1 | 飯田晃弘 | 乾燥 | (株)大川原製作所 |
| 2 | 榎本直弘 | 集じん | 集塵装置(株) |
| 3 | 内田和宏 | 造粒 | (株)パウレック |
| 4 | 稲山良介 | 計装測定 | 大塚電子(株) |
| 5 | 馬場一寿 | リサイクル技術 | (株)セイシン企業 |
| 6 | 野村光生 | 食品粉体技術 | (株)日清製粉グループ本社 |
| 7 | 島田理史 | 粒子加工技術 | (株)菊水製作所 |
| 8 | 角家強志 | 粉体シミュレーション技術利用 | (株)構造計画研究所 |
| 9 | 中尾修也 | 粒子積層技術 | (株)村田製作所 |

### 4.6 特別感謝状

| No. | 氏名 | 委員会名 | 所属先 |
|---|---|---|---|
| 1 | 石川敏 | 湿式プロセス | 関西金網(株) |

### 4.7 委員会・部門功労賞（第 9 回）

| No. | 氏名 | 委員会名 | 所属先 |
|---|---|---|---|
| 1 | 根本源太郎 | 「粉体技術」編集 | 大川原化工機(株) |
| 2 | 田中満也 | 集じん技術 | 関西フエルトファブリック(株) |
| 3 | 近藤俊一 | 粉じん爆発 | (株)日清製粉グループ本社 |

## 5. 粉体工業展

### 5．1 国際粉体工業展東京 2022（第 24 回）

#### 5.1.1 概要

会期：2022 年 12 月 7 日（水）～9 日（金）
　　2022 年 11 月 21 日（月）～2023 年 1 月 27 日（金） オンライン展
会場：東京ビッグサイト 東 1・2・3 ホール
主催：一般社団法人日本粉体工業技術協会
後援：農林水産省、文部科学省、（国研）産業技術総合研究所、

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)
特別協賛:(一社)粉体工学会、(公社)化学工学会、日刊工業新聞社
協賛:

| | | |
|---|---|---|
| 化成品工業協会 | (一社)環境資源工学会 | (一財)機械振興協会 |
| 合成ゴム工業会 | 骨材資源工学会 | 材料技術研究協会 |
| (公社)産業安全技術協会 | (一社)産業環境管理協会 | (一社)色材協会 |
| (一社)資源・素材学会 | 人工軽量骨材(ALA)協会 | (一社)製剤機械技術学会 |
| 製粉協会 | 石油化学工業協会 | 石灰石鉱業協会 |
| (一社)セメント協会 | 耐火物技術協会 | タングステン・モリブデン工業会 |
| (一社)電池工業会 | (一社)東京科学機器協会 | ナノ学会 |
| (一社)ナノテクノロジービジネス推進協議会 | 日本エアロゾル学会 | (一社)日本化学工業協会 |
| (一社)日本機械学会 | (公社)日本空気清浄協会 | (一社)日本計量機器工業連合会 |
| (公社)日本下水道協会 | (一社)日本建設機械施工協会 | (一社)日本砕石協会 |
| (公社)日本材料学会 | (一社)日本産業機械工業会 | (一社)日本試薬協会 |
| (一社)日本食品機械工業会 | (一社)日本食品工学会 | (公社)日本水道協会 |
| 日本製薬工業協会 | 日本製薬団体連合会 | 日本石灰協会 |
| 日本石鹸洗剤工業会 | (公社)日本セラミックス協会 | (一社)日本鉄鋼協会 |
| (一社)日本電気計測器工業会 | (一社)日本塗料工業会 | (一社)日本乳業協会 |
| (一社)日本粘土学会 | (一社)日本農業機械工業会 | 日本肥料アンモニア協会 |
| (一社)日本ファインセラミックス協会 | 日本プラスチック工業連盟 | 日本フレキシブルコンテナ工業会 |
| 日本粉末冶金工業会 | (一社)日本包装機械工業会 | 日本無機薬品協会 |
| 日本薬科機器協会 | (一社)ニューガラスフォーラム | (一社)表面技術協会 |
| (一財)ファインセラミックスセンター | (一社)粉体粉末冶金協会 | |

出展社数 253 社・団体 (152 社・団体) 展示規模 995 小間 (457 小間)
登録入場者数 11,257 名 オンライン展来場者数 6,424 名
国際粉体工業展東京として初めてオンライン展を開催

**同時開催:**
□粉体工学会 秋期研究発表会
会期:12 月 6 日(火)・7 日(水)の 2 日間、粉体工学会秋期研究発表会が開催された。
7日(水)には、展示会場内で技術セッションとシンポジウムを公開形式で行った。

**併催企画:**
□学生ツアー・交流会(企画運営:人材育成委員会)会期:2022 年 12 月 7 日(水) 9:30～13:00
会場:展示会場内 第 3 会場、他 参加者: 51 名(学校 37 名、企業 14 名)

□製品技術説明会 会場内およびオンデマンド配信
会期: 2022 年 12 月 7 日(水)~12 月 9 日(金)
会場: 展示会場内 A ルーム・B ルーム:C ルーム・D ルーム
参加者: 延べ 1,075 名

□特別展示ゾーン 出展社プレゼンテーション
会期: 2022 年 12 月 7 日(水)~12 月 9 日(金)
会場: 展示会場内 特設ステージ
参加者: 延べ 125 名

□アカデミックコーナー ～若手研究者が語る未来の粉体技術～
日時: 2022 年 12 月 8 日(木)
10:00～11:15 プレゼンテーション 会場:展示会場内第 2 会場 参加者:55 名
11:15～12:00 ポスターセッション 会場:展示会場内 粉の広場
表彰式 会場:展示会場内第 2 会場
優秀研究賞 大広島大学 樽谷 直紀 氏
研究奨励賞 国立研究開発法人産業技術総合研究所 綱澤 有輝 氏
東北大学多元物質科学研究所 石原 真吾 氏

□動画紹介
粉じん爆発動画(協力:粉じん爆発委員会)及び粉体シミュレーション動画(協力:粉体シミュレーション技術利用分科会)の動画を展示会場内 特設ステージにおいて3日間放映した。

**併催セミナー・フォーラム**

**□セミナー**

◆最新情報フォーラム

「包装のトレンドと粉体包装について」（企画協力：一般社団法人日本包装機械工業会）
日時：2022 年 12 月 7 日（水） 14:30～16:10
会場：展示会場内　第 1 会場 参加者： 140 名

「新しい価値創出に貢献する粉体シミュレーション」
日時：2022 年 12 月 8 日（木） 14:30～16:30
会場：展示会場内　第 1 会場 参加者： 111 名

「マイクロプラスチック－ 現状分析から将来展望まで」
日時： 2022 年 12 月 9 日（金） 14:30～16:30
会場： 展示会場内　第 1 会場 参加者： 49 名

「リチウムイオン電池の最新動向と次世代電池について」
日時： 2022 年 12 月 9 日（金） 10:00～12:00
会場： 展示会場内　第 3 会場 参加者： 136 名

「代替食の最新動向」
日時： 2022 年 12 月 9 日（金） 14:30～16:30
会場： 展示会場内　第 3 会場　参加者： 97 名

◆粉体工学入門セミナー

「粉体工学入門セミナー（粉の動き）」
日時：2022 年 12 月 7 日（水） 12:30～13:30
会場：展示会場内　第 1 会場　参加者： 145 名

「粉体工学入門セミナー（液中の粉の性質）」
日時：2022 年 12 月 8 日（木） 12:30～13:30
会場：展示会場内　第 1 会場　参加者： 145 名

「粉体工学入門セミナー（粉体の加工技術）」
日時：2022 年 12 月 9 日（金） 12:30～13:30
会場：展示会場内　第 1 会場　参加者： 132 名

◆粉体機器ガイダンス（機器選定の基礎）

「輸送」
日時： 2022 年 12 月 7 日（水） 10:00～12:00
会場： 展示会場内　第 1 会場　参加者： 161 名 （オンデマンド配信　視聴数：261 名）
「混合・成形」
日時： 2022 年 12 月 8 日（木） 10:00～12:00
会場： 展示会場内　第 1 会場　参加者： 146 名 （オンデマンド配信　視聴数：356 名）
粉体機器ガイダンス（機器選定の基礎）
「湿式プロセス、晶析」
日時： 2022 年 12 月 9 日（金） 10:00～12:00
会場： 展示会場内　第 1 会場 参加者： 140 名 （オンデマンド配信　視聴数：185 名）

◆粒子特性評価 JIS/ISO 規格の最新動向

日時： 2022 年 12 月 7 日（水） 15:00～16:30
会場： 展示会場内　第 3 会場 参加者： 58 名

◆AI 技術利用に関するセミナー（企画協力：AI 技術利用委員会）

「新たな価値創造に向けた DX の本質」
日時： 2022 年 12 月 8 日（木） 10:00～12:00
会場： 展示会場内　第 3 会場　参加者： 99 名

◆粉じん爆発情報セミナー（企画協力：粉じん爆発委員会）

日時： 2022 年 12 月 8 日（木） 13:00～15:45
会場： 展示会場内　第 3 会場 参加者： 134 名

◆粒子径計測入門セミナー（企画協力：規格委員会）

「粒度と粒子径／粒子径と粒子径分布／平均径／分布の表示法／粒子径計測の諸原理などを紹介」
日時: 2022 年 12 月 9 日(金) 10:00～11:30
会場: 展示会場内 第 2 会場
参加者: 96 名 (オンデマンド配信 視聴数:257 名)

◆海外情報セミナー (企画協力:海外交流委員会)
日時: 2022 年 12 月 9 日(金) 13:00～16:10
会場: 展示会場内 第 2 会場 参加者: 32 名

◆技術シーズ賞受賞記念講演会 (企画運営:産学技術交流推進部門)
日時: 2022 年 12 月 8 日(木) 13:00～15:00
会場: 展示会場内 第 2 会場 参加者: 50 名

◆テクノプラザ ～産学官技術交流会～ (企画運営:産学技術交流推進部門)
日時: 2022 年 12 月 8 日(木) 15:45～16:45
会場: 展示会場内 東3ホール会議室 参加者: 62 名

**5.1.2 オープニングセレモニー**

日時: 2022 年 12 月 7 日(水) 9:20 より
会場: 東京ビッグサイト「国際粉体工業展東京 2022」 東 1 ホール内 第 1 会場
主催者挨拶 (一社)日本粉体工業技術協会 代表理事会長 牧野 尚夫
テープカット:全 7 名

**5.1.3 主催者コーナー 技術相談コーナー**

**技術相談コーナーを設置。各日 4 ブースにて実施。(相談件数: 延べ 39 件)**

**5.1.4 主催者コーナー 公的研究機関コーナー**

(国研)海洋研究開発機構、(一財)化学物質評価研究機構、(国研)産業技術総合研究所、(一財)電力中央研究所、(国研)物質・材料研究機構、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構、による研究内容をパネルおよび実物で展示した。特設ゾーンステージにおいて各研究機関のショートプレゼンを行なった。

**5.1.5 主催者コーナー**

・協会活動案内
日本粉体工業技術協会の案内や協会誌“粉体技術”の紹介をはじめ、各種資料の配布を行った。
・分科会コーナー
21 分科会がロードマップポスター展示を行った。
・標準粉体展示コーナー
粉じん(ダスト)、微粒子、粉体を対象として機器と部品の摩耗試験、耐久試験、防じん試験、気体・液体用浄化機器の性能試験、粉体・粉じん用測定機器の検定、校正などに使用される標準粉体の紹介を行った。
・会員企業一覧の掲示

**5.1.6 その他**

・インフォメーションカウンター
東 2 ホール前ガレリア側に、インフォメーションカウンターを設け、来訪者の問い合わせに対応した。
・カタログ展示コーナー
東 3 ホールにカタログ展示コーナーを設置。新製品・新技術:3 社 3 種類、ロングセラー製品:5 社 7 種類、その他 1 社 1 種類のカタログが展示され、カタログ希望者にはその場でカタログを渡した。

**5.1.7「粉体技術総覧 2022/2023」の発刊**

展示会と連動して隔年で発刊している「粉体技術総覧」を今回も来場者に無料で配布した。
あわせて、WEB 版「粉体技術総覧 2022/2023」(https://funtaisouran.com/)を、会期初日に公開した。

**5.1.8 Wi-Fi ラウンジ**

会場内に、Wi-Fi(公衆無線 LAN)使用可能なラウンジを設置した。

**5.2.1 広報活動**

・プレスリリースの配信
・メディア誘致活動
・テレ東 BIZ ホームページにて取材動画配信
番組名「工業製品の 8 割は粉からできている？知られざる粉体技術の世界」

## 6. 常置委員会

### 6.1 総務委員会 （角井寿雄委員長、六車嘉貢副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

1) APPIE メールマガジンの発信を継続し更なる内容の改善を図った。

2) 協会ホームページの更新・メンテナンス・改善を行った。

3) 「国際粉体工業展東京2022」非会員出展社に対し入会勧誘を行った。

4) 過去3年間の入退会リストを更新し、入会・退会理由を明らかにし、会員増強と退会防止の取り組みについて討議、実施した。最近入会した企業を中心にアンケートを実施することとし、アンケート項目について検討している。

5) 会長特命事項

5)-1. 新入会員オリエンテーション実施への協力を継続した。

5)-2. 組織強化委員会および海外交流委員会と連携し、広報改革について議論し、ホームページ英語版の改善を行っている。

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.12 | 東京/東京ガーデンパレス | 8 | 1. 2022 年度事業計画、活動方針の確認<br>2. 創立 50 周年記念事業結果報告<br>3. 広報改革<br>4. 新入会員オリエンテーション |
| 2 | 2022.8.25 | 京都/協会本部会議室 | 13 | 1. 2022 年度事業計画、活動方針確認と進捗報告<br>2. 国際粉体工業展東京 2022 非会員出展社勧誘<br>3.会員向けアンケート<br>4. 広報改革 |
| 3 | 2022.12.15 | 大阪/ANA クラウンプラザホテル大阪 | 14 | 1. 2022 年度事業計画確認と進捗報告および次年度計画<br>2. 国際粉体工業展東京 2022 非会員出展社勧誘結果<br>3. 新入会員オリエンテーション<br>4. 会員向けアンケート |

### 6.2 組織強化委員会 （山田幸良委員長、前田孝善副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

・ホームページリニューアル：2022 年 4 月に、協会ホームページをリニューアルし、引き続き、英文ホームページ改訂に向けた準備を総務委員会および海外交流委員会と共に進めている。

・新入会オリエンテーション：東京および大阪で計 2 回開催

2. 実施した会合、会議

新入会員オリエンテーション

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.12 | 東京ガーデンパレス | 20 | 新入会員 8 名、 協会関係者 12 名 |
| 2 | 2022.12.15 | ANAクラウンプラザホテル大阪 | 18 | 新入会員 3 名、 協会関係者 15 名 |

### 6.3 技術委員会 （牧野尚夫委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

現在、「技術委員会」の傘下に「AI 技術利用委員会」がある。昨年度末「技術用語検討委員会」は解消しているが、同委員会で刊行した「粉体用語ポケットブック」は販売を継続しており、今年度は33冊を販売した。

2.実施した会合、会議

開催なし

#### 6.3.2 AI 技術利用委員会 （酒井幹夫委員長、島田憲成、山本浩充各副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

2回の委員会および国際粉体工業展東京 2022 における AI 技術利用セミナーを実施した。また、国際粉体工業展東京 2022 では、新たな価値創造に向けた DX の本質と題した AI 技術利用セミナーを企画し、データサイエンス・AI の専門家を招待した（講演3件、事前申込者数 120 人超）。2022 年度の事業を通して、次世代の粉体に関するものづくりに関する知見が得られた。

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.8.3 | 東京/㈱構造計画研究所・Web | 21 | 「粉体プロセスとデータサイエンス」に関する 3 件の講演<br>国際粉体工業展東京 2022 での AI 技術利用セミナー案内 |
| 2 | 2023.2.22 | 東京/㈱構造計画研究所・Web | 23 | 「粉体プロセスとデータサイエンス」に関する 3 件の講演 |

（コアミーティング）

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.13 | 協会東京事務所・Web | 10 | 2022 年度活動計画（第 1 回委員会テーマ検討）<br>AI 技術利用委員会アンケート確認<br>国際粉体工業展東京 2022 でのセミナー検討 |
| 2 | 2022.9.6 | 協会東京事務所・Web | 13 | 第 2 回委員会テーマ検討<br>AI 技国際粉体工業展東京 2022 でのセミナー検討 |
| 3 | 2022.12.8 | 東京ビッグサイト | 13 | AI 技国際粉体工業展東京 2022 でのセミナー総括<br>次回委員会計画 |

**6.4 「粉体技術」編集委員会** （内藤牧男委員長、加納純也、根本源太郎各副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

協会会員のニーズを反映し、かつ我が国の粉体関連分野に関わる充実した情報を一般読者にも幅広く提供する「粉体技術」誌を目指し、多様で魅力ある誌面づくりを引き続き進めている。電子媒体出版にむけての基盤整備は一区切りしたので、QR コードの活用などデジタルコンテンツ化に向けた取り組みをさらに進めた。また、充実した編集委員会体制のもとで、連載記事の企画などを積極的に行った。

粉体関連産業の総合情報月刊誌である「粉体技術」各号の特集内容は以下の通り。

| 月号 | 特集内容 |
|---|---|
| 4月号 | 協会を支える分科会活動 |
| 5月号 | AI、IoT を活用した新しいリサイクル技術 |
| 6月号 | 新型コロナウイルス |
| 7月号 | カーボンニュートラル |
| 8月号 | ファインバブルの最新技術～さまざまな分野における活用事例～ |
| 9月号 | 食品粉体に関わる先端技術 |
| 10月号 | ビジネスを変革させるビッグデータの活用 |
| 11月号 | 粉体技術の温故知新・技術変遷 |
| 12月号 | 粒子積層技術分科会 |
| 1月号 | 新しい時代に対応する働き方改革 |
| 2月号 | モノづくりを支える 3D 技術 |
| 3月号 | アミューズメントと粉 |

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.17-18 | 仙台/東北大学多元物質科学研究所・Web 会議 | 25 | 1.進捗状況確認、検討<br>2.特集企画の長期計画の検討 |
| 2 | 2022.9.17 | 京都/ 京都経済センター Web会議 | 25 | 1.進捗状況確認、検討<br>2.新企画 |
| 3 | 2022.12.17 | 東京/オフィス東京会議室 Web 会議 | 25 | 1.進捗状況確認、検討<br>2.新企画 |
| 4 | 2023.3.18 | 京都/ 京都経済センター Web 会議 | 21 | 1.進捗状況確認、検討<br>2.新企画 |

（小委員会）

| 回 | 月・日 | 場所 | 議題 |
|---|---|---|---|
| 1～12 | 毎月中旬 | 京都/協会本部 8 階会議室・Web 会議 | 各号原稿の確認・校正 |

（正副委員長会議）

| 回 | 日程 | 場所 | 議題 |
|---|---|---|---|
| 1 | 2022.5.13 | 東京/東京事務所会議室 | 1. 2022 年度編集方針<br>2. 特集企画の長期計画 |

（学協会編集委員会正副委員長懇談会）

| 回 | 日程 | 場所 | 議題 |
|---|---|---|---|
| 1 | 2022.10.17 | 京都/京都経済センター | 1. 情報交換<br>2. 両誌充実のための討論 |

**6.5 推薦審査委員会** （山田幸良委員長、齋藤文良副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

・各賞の表彰規定に則り、審査業務を実施した。
2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022. 10. 6 | 京都/協会本部会議室 | 5 | 1.分科会功労賞/委員会・部門功労賞選考 |
| 2 | 2023. 2. 15 | 名古屋/名鉄グランドホテル | 7 | 1.個人会員等候補者の選考<br>2.個人会員の名誉個人会員への移行<br>3.会友候補者の選考 |
| 3 | 2023. 2. 15 | 名古屋/名鉄グランドホテル | 7 | 1.協会賞・粉体工業展賞候補者の選考審査<br>2.粉体工業功績者賞候補の選考審査 |

### 6.6 粉体工業展委員会 （牧野尚夫委員長、槇野利光、三宅康雄各副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要
1) 国際粉体工業展東京2022開催（詳細は東京粉体工業展委員会より報告あり）
2) POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023開催準備
3) 展示会名称の検討
展示会名称を「POWTEX® ＋ 西暦年」(ex. POWTEX® 2023)とし、従来の展示会名「国際粉体工業展 ＋ 東京/大阪 ＋ 西暦年」(ex. 国際粉体工業展大阪2023)を併記することで決定した
2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.9.29 | 協会東京事務所およびWEB | 14 | 1. 展示会名称検討<br>2. 国際粉体工業展大阪2023の大小間出展社に対するバナーサービス等の優遇措置<br>3. 国際粉体工業展東京2022開催記念レセプション |

#### 6.6.1 東京粉体工業展委員会 （槇野利光委員長、芦澤直太郎、森山秀男各副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要
国際粉体工業展東京 2022（第 24 回）は、以下の委員会を開催し詳細な計画を詰め、広報活動及び出展・来場促進活動に注力し成功を目指し活動を行い盛会裏に終了することができた。
国際粉体工業展東京 2022（第 24 回）開催概要
1)リアル展　開催期間: 2022 年 12 月 7 日（水）～12 月 9 日（金）、3 日間
会場：東京ビッグサイト　東展示棟　1・2・3 ホール
開催規模：995 小間　出展者数：253 社・団体（会員 132、一般 110・団体 11）　来場者数：11,257 名
※2020：457 小間　出展者数：152 社・団体（会員 70、一般 72・団体 10）　来場者数：5,060 名
2)オンライン展　開催期間: 2022 年 11 月 21 日（月）～2023 年 1 月 27 日（金）
3)昨年の大阪粉体工業展に続きハイブリッド開催を実施した。リアル展では併催行事のオンデマンド配信や動画を多用した配信も行い多くの来場者を集めた。
4)併催行事：多くの講演セミナーを開催（詳細は、「5. 粉体工業展」を参照）
5)粉体技術総覧 2022/2023：計測の項目拡充や分科会紹介ページなど内容を刷新し会場内で無償配布した。
1-2.実施した会合、会議

| 会議名 | 回数 | 会議内容 |
|---|---|---|
| 本委員会 | 4 | 国際粉体工業展東京 2022 の全般事項 |
| 正副委員長会議 | 4 | 本委員会前の事前確認 |
| 粉体技術総覧小委員会 | 3 | 粉体技術総覧製作、配布、Web 版管理 |
| 広報（出展・来場促進）小委員会 | 2 | 出展促進計画など広報活動全般、来場促進 |
| オンライン展検討・会場運営小委員会 | 4 | オンライン展の改善向、会期中のスムーズな運営 |
| 併催行事小委員会 | 1 | 併催行事，主催者企画　進捗確認、検討など |

#### 6.6.2 大阪粉体工業展委員会 （三宅康雄委員長、池田憲俊、加藤康弘各副委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要
「POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023」開催に向けて、委員会活動を開始した。
主な検討事項
1）テーマ
「PX(Powder Technology Transformation)」をテーマに掲げ、これに合う展示会の内容を検討している。
2)オンライン展
前回同様に、リアル展にオンライン展を併設したハイブリッド方式で開催することを決定した。オンライン展は、「国際粉体工業展東京2022」オンライン展の結果を踏まえ、内容など検討していく。

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.14 | 京都/協会本部会議室およびWEB | 18 | 1.委員自己紹介と役割分担<br>2.開催概要、全体スケジュール、オンライン展について<br>3.併催行事、広報について |
| 2 | 2022.10.13 | 京都/協会本部会議室およびWEB | 23 | 1.開催要項内容、送付先、募集方法の確認<br>2.出展目標、バータ、交換ブースについて<br>3.会場構成、併催行事について |
| 3 | 2022.12.20 | 京都/協会本部会議室およびWEB | 16 | (臨時大阪粉工展委員会)<br>1.PX について議論、検討<br>2.国際粉体工業展東京2022リアル展結果報告、オンライン展状況報告 |
| 4 | 2023.3.3 | 京都/協会本部会議室およびWEB | 22 | 1.出展目標と出展状況報告、オンライン展について<br>2.広報、式典、併催行事について |

(小委員会)

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.10.13 | 京都/協会本部会議室およびWEB | 11 | 1.開催が予定されている併催行事の確認<br>2.こなもんことはじめ-粉体工学ガイダンス<br>3.展示会全体のテーマと併催行事テーマ決定<br>4.開催テーマ"PX"のとらえ方と候補セミナー<br>5.最新情報フォーラム、ガイダンスのテーマ |
| 2 | 2023.3.3 | 京都/協会本部会議室およびWEB | 11 | 1.協会委員会、分科会の開催予定報告<br>2.テーマ、依頼先の検討<br>3.テーマ決定・開催までのスケジュール |

### 6.7 分科会運営委員会 (奥山喜久夫委員長、浅井信義、鈴木康夫各副委員長)

1. 2022 年度の事業実績概要

・分科会会活動が持続的に運営および活動されるようにサポートを行った。
・昨年度に引き続き、ハイブリッド講演会を進め、オンサイトでの見学会などを安全に開催した。
・新型コロナウイルス感染の流行下での分科会活動が進められるように議論を進めた。
・分科会運営相談会を通して、3 つの分科会の組織および運営を個別に確認し、必要に応じてサポートした。
・拡大分科会運営委員会および分科会連絡会議の課題整理および準備を行った。

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.1 | 京都/協会本部会議室 | 7 | ・2022 年度拡大分科会運営委員会および分科会運営相談会の準備 |
| 2 | 2022.8.26<br>拡大分科会運営委員会 | ホテルグランヴィア京都・Web会議 | 38 | ・各分科会からの 2022 年度の活動状況報告<br>・分科会活動の現状と課題についての情報提供 |
| 3 | 2022.11.7 | 京都/協会本部会議室 | 7 | ・分科会運営相談会と拡大分科会運営委員会にて提起された問題点の整理と検討<br>・分科会連絡会議の次第と役割分担 |
| 4 | 2023.3.6 | 京都/協会本部会議室 | 7 | ・2023 年度の活動方針と事業計画<br>・2022 年度の分科会連絡会議の反省と対応<br>・分科会ロードマップの改定 |

(小委員会)

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.12.7 | 東京ビックサイト | 6 | ・分科会ロードマップの改正 |

### 6.8 海外交流委員会 (浅井信義委員長、田辺大二副委員長)

1. 2022 年度の事業実績概要

1)KOREA CHEM(韓国):6/14(火)－17(金)ソウル近郊 KINTEX にて開催
帰国制限があり派遣はせず、ブースにポスター2 種(POWTEX®開催案内と入会促進)を展示し、入会促進のチラシを設置した。

2)POWTECH(ドイツ):9/27(火)-29(木)ニュルンベルクにて開催
新型コロナによる入国/帰国制限の懸念があり、ポスター展示を主とした相互協力契約を締結した。POWTEX®開催案内と入会促進のポスター展示やウェブサイトへのバナー掲載、展示会カタログへの広告掲載を行った。

3)IPB(中国)2022 年度開催中止
毎年上海で開催されていた中国顆粒学会およびニュルンベルクメッセ主催による粉体工業展は、新型コロナによるロックダウンや中国共産党全国大会の影響により、場所の変更や 2 度の延期決定ののち、最終的に開催中止となった。
4)海外情報セミナー企画開催(12/9 国際粉体工業展東京 2022 併催行事)
5)海外との交流を強化する一環としての協会英文 HP 刷新に向けて、意見交換を行った。
2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.5.31 | 東京事務所&Web | 16 | ・海外情報セミナー企画<br>・協会英文 HP 見直し |
| 2 | 2022.9.8 | 東京事務所&Web | 12 | ・海外展示会進捗報告および今後の対応<br>・協会英文 HP 見直し |
| 3 | 2023.3.15 | 東京事務所&Web | 15 | ・2023 年度事業計画確認<br>・海外展示会対応検討 |

**6.9 人材育成委員会**（荻田容宏委員長、槙野利光副委員長、菅原尚也副委員長）
2022 年度の事業実績概要
1)委員会開催日に合わせて「若手のつどい」を年 4 回開催:
新型コロナウイルス感染拡大のため 1 回目はライブ・オンライン工場見学と講演、グループ討議を実施した。2 回目からは対面での工場見学、講演に戻して実施。4 回目も感染防止策を講じて対面で委員会、若手のつどいを実施予定。
2)国際粉体工業展東京 2022 「学生ツアー・交流会」
新型コロナウイルス感染拡大により 2 年間中止していた学生ツアー・交流会を実施。ツアー前の講演は高井千加准教授(岐阜大学)にお願いし、10 グループに分かれ若手先生の引率で展示ブースツアーと交流会を行った。
2. 実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.14 | 千葉/アシザワ・ファインテック | 40 | オンライン工場見学と講演 |
| 2 | 2022.8.30 | 大阪/協和ステンレス | 19 | リアル工場見学、懇親会 |
| 3 | 2022.11.18 | 東京ガーデンパレス | 29 | リアル製品プレゼン、懇親会 |
| 4 | 2022.12.7 | 東京ビッグサイト | 51 | 講演、「学生ツアー・交流会」 |
| 5 | 2023.3.28 | TKPガーデンシティ京都タワー | 25 | 講演会、懇親会 |

**6.10 標準粉体委員会**（森康維委員長、後藤邦彰副委員長）
1. 2022 年度の事業実績概要
1)JIS Z 8901 の改正準備作業について
2)JIS 試験用粉体 1 (JIS Z 8901) の粒子径分布測定法について
3)JIS 試験用粉体 2 のガラスビーズ(JIS Z 8901)の供給体制について
4)SAPI4-12「SAP 試験用粉体 3」の JIS 規格化について
5)MBP (JIS Z 8900-1)粒子の供給体制について 2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.10.24 | Web 会議<br>協会本部会議室 | 16 | 1. JIS Z 8901 の改定準備作業について<br>2. JIS 試験用粉体 1(JIS Z 8901)の粒子径分布測定法<br>3. JIS 試験用粉体2:ガラスビーズ(JIS Z 8901)の供給体制<br>4. SAP14-12「SAP 試験用粉体 3」の JIS 規格化<br>5. MBP(JIS Z 8900-1)粒子の供給体制 |
| 2 | 2023.3.27 | 同上 | | 上記 1、2、5 項 |

(小委員会)

| 種別 | 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|---|
| ガラスビーズ検討 | 1 | 2022.4.4 | Web 会議 | 9 | JIS 試験用粉体2:ガラスビーズ(JIS Z 8901)の供給体制について |
| MBP 評価 | 1 | 2022.4.4 | Web会議 | 10 | MBP(JIS Z 8900-1)粒子の粒子径測定 |
| JIS Z 8901 改正準備 | 1 | 2022.8.8 | Web会議 | 6 | JIS Z 8901 改正方針 |
| JIS Z 8901 改正準備 | 2 | 2022.8.22 | Web会議 | 8 | JIS Z 8901 改正方針 |
| JIS Z 8901 改正準備 | 3 | 2022.10.24 | Web会議 | 8 | JIS Z 8901 改正方針 |

**6.11 規格委員会**（松山達委員長、高橋かより副委員長）
1.2022 年度の事業実績概要
1)協会規格(SAP)および JIS の 5 年定期見直しを実施。

2)原案作成した 1 件の JIS が 2023 年 1 月 20 日に改正、公示された。3 件の原案を提出、2 件が原案作成中。
3)ISO の TR や TS の対訳版作成のため小委員会を立ち上げた。来年度早々に対訳版発行の予定である。
4)JIS や ISO の情報を協会 HP や「粉体技術」誌上で紹介した。
5)国際粉体工業展東京 2022 において、「粒子特性評価 JIS/ISO 規格の最新動向」と題したセミナーを初めて企画開催した。53 名参加。規格協会の協力で、販売員派遣および JIS の特別割引を行った。
6)「粒子径計測入門」セミナー(同じく併催行事)を開催した。94 名参加。
7)令和4年度産業標準化貢献者表彰(産業技術環境局長表彰)に以下 2 名を推薦し、受賞となった。
福井国博(広島大学大学院)氏　伊藤和輝((株)リガク)氏 2.実施した会合、会議

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.5.20 | Web | 12 | ・SAP、JIS、ISO の確認、新規作成検討<br>・規格、標準化活動に関する広報<br>・規格関連委員会の動向について<br>・標準化セミナーについて |
| 2 | 2022.11.22 | 東京事務所＆Web | 12 | |

### 6.11.1 粒子特性評価委員会 (桜井博委員長、伊串達夫副委員長)

1. 2022 年度の事業実績概要
本委員会は現在 45 名の委員により構成され、粒子特性評価委員会(ISO/TC 24/SC 4 国内審議団体)を開催。主に、経済産業省からの委託事業活動を含め粉体・粒子測定に関する ISO 国際標準化活動に参加し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動中。
2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 会議内容 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.28 | Web 会議 | 42 | ISO/TC24/SC4 国際会議報告及び各 WG の Project 進捗報告<br>リエゾン TC の報告など |
| 2 | 2022.11.29 | Web 会議 | 39 | |

### 6.11.2 ふるい委員会 (松山達委員長)

1. 2022 年度の事業実績概要
本委員会は現在 13 名の委員により構成され、ふるい委員会(ISO/TC 24/SC 8 国内審議団体)を開催。主に、ふるいに関する ISO 国際標準化活動に参加し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動中。
2. 実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 会議内容 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.2.24 | Web 会議 | 14 | 国際 ISO/TC24/SC8 リモート会議報告及び SC8 内 WG の Project 進捗報告など |

### 6.11.3 集じん技術委員会 (福井国博委員長、森下あや子副委員長)

1. 2022 年度の事業実績概要
本委員会は現在 19 名の委員で構成され、ISO/TC 142/WG5 及び ISO/TC 142/WG7国内審議団体として、主に経済産業省からの委託事業として集じん装置の性能評価試験法(WG5)、集じん用ろ布性能分布評価試験法(WG7)に関する ISO 国際標準化活動に参加し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動している。
2. 実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.27<br>(正副委員長会議) | Web 会議 | 6 | TC142 Plenary Meeting について、WG7 AWI/23742、WG5 AWI/16313-2 について |
| 2 | 2021.7.27<br>(正副委員長会議) | Web会議 | 8 | 本年度の体制と方針 ISO/TC142/WG-5、WG-7 の現状報告 |
| 3 | 2022.7.28<br>(集じん技術委員会) | Web会議 | 18 | ISO/TC142/WG5, WG7 会議報告、2022 年度活動方針など |
| 4 | 2022.9.2<br>日中事前 Web 会議 | Web会議 | 5 | 23742 CD 案の内容や「ろ布の電導性能, 帯電性能の評価試験法」案を紹介し、意見交換及び情報収集を実施 |
| 5 | 2022.10.31<br>(正副委員長会議) | Hybrid会議 | 8 | 国際会議 TC142/WG7 会議開催概要と今後について |
| 6 | 2022.11.14<br>(集じん技術委員会) | Hybrid会議 | 19 | ISO/TC142/WG5, WG7 WG 会議及び Plenary 会議報告 |
| 7 | 2023.2.6<br>(集じん技術委員会) | Web会議 | 20 | ISO/TC142 WG7 現状及び今後の対応、ISO/TC142 WG5 現状及び今後の対応 |

### 6.11.4-1 2021 年度 JIS 原案作成委員会 2

－ISO17867: Particle size analysis -- Small-angle X-ray scattering の JIS 制定－

（伊藤和輝委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

本委員会は現在 18 名の委員により構成され、2021 年度 JIS 原案作成委員会 2（JSA 原案作成公募制度により JIS を作成する委員会）を開催。主に、日本規格協会（JSA）の協力のもとに JIS 原案作成に関係するメンバーが参加し、適正な JIS を作成。

2.実施した会合、会議

本 JIS は、2020 年 12 月に発行された小角 X 線散乱法による粒子径分布計測に関する国際規格 ISO17867、タイトル：粒子径解析−小角 X 線散乱法、に関するものである。国内の事業者間の測定方法の標準化及び国際規格との整合化の観点より、ISO 17867:2020 を基に JIS を制定する。

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 2022.8.25 | Web 会議 | 10 | JIS 原案内容の確認と承認 |

（分科会）

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | 2022.5.16 | Web会議 | 6 | JIS 原案（素案）審議 |
| 4 | 2022.6.7 | Web会議 | 7 | |
| 5 | 2022.6.22 | Web会議 | 7 | |
| 6 | 2022.7.13 | Web会議 | 5 | JIS 原案素案審議のまとめ |

### 6.11.4-2 2021 年度 JIS 原案作成委員会3

－ISO14411-2: Preparation of particulate reference materials -- Part 2: Polydisperse spherical particles の JIS 制定－

（森康維委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

本委員会は現在 13 名の委員により構成され、2021 年度 JIS 原案作成委員会 3（JSA 原案作成公募制度により JIS を作成する委員会）を開催した。日本規格協会（JSA）の協力のもとに JIS 原案作成に関係するメンバーが参加し、適正な JIS を作成した。

2.実施した会合、会議

本 JIS は，粒子特性（粒子径分布）評価用計測機器の測定精度を確認するために使用される粒子状標準物質（検定用粒子），特に多分散の球形粒子で構成される粒子状標準物質について規定するもので、2020 年に発行された ISO14411-2: Preparation of particulate reference materials -- Part 2: Polydisperse spherical particles に対応する規格として制定した。

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 2022.8.4 | Web会議 | 10 | JIS 原案素案審議、JIS 原案内容の最終素案審議、意見統一 |

（分科会）

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 2022.4.27 | Web 会議 | 8 | JIS 原案素案審議 |
| 5 | 2022.7.6 | Web 会議 | 8 | JIS 原案素案審議のまとめ |

### 6.11.4-3 2022 年度 JIS 原案作成委員会 1

ISO15900 Determination of particle size distribution - Differential electrical mobility analysis for aerosol particles エアロゾル粒子の粒径分布測定方法－電気移動度法

（桜井博委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

10 名の委員により構成される 2022 年度 JIS 原案作成委員会 1（JSA 原案作成公募制度により JIS を作成する委員会）を開催し、2020 年に発行された ISO15900:2020 (Ed.2) Determination of particle size distribution - Differential electrical mobility analysis for aerosol particles に対応する JIS 原案を作成した。

2. 実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.26 | Web 会議 | 7 | JIS 原案作成の基本方針および作業スケジュール調整 |
| 2 | 2022.9.20 | Web会議 | 9 | JIS 原案（素案）審議 |
| 3 | 2022.11.15 | Web会議 | 9 | 最終素案審議、意見統一 |

（分科会）

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.26 | Web 会議 | 5 | JIS 原案作成の基本方針および作業スケジュール調整 |
| 2 | 2022.5.30 | Web会議 | 7 | JIS 原案素案審議 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 3 | 2022.6.22 | Web会議 | 7 | |
| 4 | 2022.7.14 | Web会議 | 6 | |
| 5 | 2022.7.19 | Web会議 | 7 | |
| 6 | 2022.8.26 | Web会議 | 7 | |
| 7 | 2022.9.20 | Web会議 | 8 | |
| 8 | 2022.10.20 | Web会議 | 6 | |
| 9 | 2022.11.15 | Web会議 | 8 | JIS 原案素案審議のまとめ |

### 6.11.4-4 2022 年度 JIS 原案作成委員会 2

JIS Z 8827-2 粒子径解析−画像解析法−第 2 部：動的画像解析法（ISO 13322-2）改正

（松山達委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

2021 年 7 月に発行された ISO 13322-2：Particle size analysis — Image analysis methods — Part 2: Dynamic image analysis methods をもとに 2010 年発行の JIS Z 8827-2 を改正する必要がある。本 JIS は、動的画像解析法による粒子径が 2 ㎜以下の微粒子の粒子径分布の測定方法について規定する。この規格では、粒子移動などによる誤差、装置の校正方法及び粒子径分布の測定方法について規定する。

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.25 | Web 会議 | 6 | JIS 原案（素案作成の基本方針確認 |
| 2 | 2022.3.29 | Web会議 | 6～7 | JIS 原案の内容確認と原案JSA提出承認 |

（分科会）

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.25 | Web 会議 | 4 | JIS 原案（素案作成の基本方針および作業スケジュール調整 |
| 2 | 2022.8.30 | Web 会議 | 3 | JIS 原案（素案）の審議 |
| 3 | 2022.10.11 | Web 会議 | 3 | |
| 4 | 2022.3.29 | Web会議 | 3 | |

### 6.11.4-5 2022 年度 JIS 原案作成委員会 3

JIS Z 8831-2 粉体（固体）の細孔径分布及び細孔特性− ガス吸着によるメソ細孔及びマクロ細孔の測定方法（ISO 15901-2）の JIS 制定

（藤正督委員長）

1. 2022 年度の事業実績概要

本委員会は委員の選定し、JIS 原作成委員会 3 を開催した。主に、日本規格協会（JSA）の協力のもとに JIS 原案作成に関係するメンバーが参加し、適正な JIS が作成されるよう活動を行っている。本 JIS は、ガス吸着による粉体（固体）の 2～50nm の間のメソ細孔及び 50～100nm の間のマクロ細孔の特性及び細孔径分布の測定方法について規定する。ただし、固体内部に存在し外表面に到達（連結）していない閉そく（塞）孔は除く。

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.10.20 | Web 会議 | 12 | JIS 原案（素案）作成の基本方針、作業スケジュール調整 |
| 2 | 2022.2.16 | Web会議 | 13 | JIS 原案の審議 |

（分科会）

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.10.20 | Web 会議 | 10 | JIS 原案（素案作成の基本方針および作業スケジュール調整 |
| 2 | 2022.12.12 | Web会議 | 9 | JIS 原案（素案）の審議 |
| 3 | 2023.2.16 | Web会議 | 10 | |
| 4 | 2023.3.22 | Web会議 | 10 | |

## 6.12 粉じん爆発委員会 （山隈瑞樹委員長、土橋律、太田潔各副委員長）

1.2022 年度の事業実績概要

1)安全教育

・粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】（毎年関東、関西交互に開催）

9 月 13 日（火）、14 日（水）に昨年同様に労働安全衛生総合研究所（清瀬市）をキーステーションにして、V-CUBE によるライブ配信ウェビナー研修を実施した。講師 14 名、リモート参加者は過去最多の 109 名。（昨年は 47 名）

・粉じん爆発・火災安全研修【中級/技術編】（2 年に1回開催）

2023 年 3 月 9 日（木）、10 日（金）に労働安全衛生総合研究所（清瀬市）をキーステーションにして、ライブ配信ウェビナー研修を実施した。講師 8 名 12 講座、リモート参加者は過去最多の 89 名。

2)最新の規制、規格等動向および技術情報の把握

・検討の必要な課題 2 件について WG 活動を継続

WG-A：粉じん危険場所分類検討 （リーダー：山隈委員長）

関連する工場見学を計画したが、新型コロナウィルス感染が収束しない中、実施は困難となった。
WG-B:堆積粉体の着火・燃焼性評価手法ならびに安全対策調査 (リーダー:太田副委員長)
NFPA(米国防火協会)規格 654 の翻訳しその概要を委員会で紹介した。

3) 国際粉体工業展東京2022の併催イベント 2022 年 12 月 8 日(木) 「粉じん爆発情報セミナー」 開催

4) 分科会等との連携
2022 年 9 月 6 日(火)に粉体ハンドリング分科会にて、「産業現場で起こりうる粉じん爆発と最近の事例紹介」のテーマで山隈委員長が技術講演を行った。

2. 実施した会合、会議

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.7 | Web | 31 | 安全研修、粉工展での情報セミナー実施詳細計画 |
| 2 | 2022.12.23 | 東京/種苗会館 6 階会議室＋Web | 32 | 活動報告(初級安全研修、粉工展での情報セミナー)および 2023 年度事業計画、勉強会 |
| 3 | 2023.3.17 | 東京/種苗会館 6 階会議室＋Web | 28 | 活動報告(中級安全研修)、<br>2023 年度事業計画実施概要、勉強会 |

## 8. 分科会

### 8.1 粉体ハンドリング分科会

登録会員数 334 人

(松坂修二ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、河府賢治副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、海老原裕之代表幹事[日清エンジニアリング㈱]、
鍋内浩副代表幹事[㈱マツシマ メジャテック])

**1. 2022 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.12 | ㈱椿本バルクシステム兵庫工場 | 27 | ㈱椿本バルクシステム兵庫工場 BULK LABO 見学 |
| 2 | 2022.9.6 | 東京/日本大学理工学部駿河台校舎 | 47 | 「粉塵爆発を知る」をテーマとした技術講演と製品紹介 |
| 3 | 2022.12.15 | 東京/日本大学理工学部駿河台校舎 | 35<br>(50) | 「空気輸送の基礎から近年の動向」をテーマとした技術講演と製品紹介(輸送分科会と合同開催) |
| 4 | 2023.3.14 | 滋賀/鯨岡 関西日野工場 | 31 | 粉体のクラフト包装をテーマに製袋工場と包装機デモンストレーション見学 |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.21<br>2022.427 | Web | 11<br>9 | 次回分科会計画、専門講座について |
| 2 | 2022.7.12 | 大阪 | 12 | 次回分科会計画、専門講座、書籍『粉体ハンドリング技術』の発送業務について |
| 3 | 2022.9.6 | 東京 | 10 | 次回分科会計画、専門講座、書籍『粉体ハンドリング技術』の発送業務について |
| 4 | 2022.12.15 | 東京 | 10 | 次回分科会計画、専門講座、23 年度以降の本会合開催回数について |
| 5 | 2023.3.14 | 滋賀 | 11 | 2023 年度の本会合開催予定日とテーマについて。<br>粉体技術者養成講座の開催について |

(専門講座)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2023.2.22 | 東京 | 43 | 粉体ハンドリング技術<br>～粉体物性・供給・輸送・粉体プロセス～ |

### 8.2 粉砕分科会

登録会員数 412 人

(内藤牧男ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、加納純也副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、石井利博代表幹事[アシザワ・ファインテック㈱]、
湯蓋一博副代表幹事[㈱日清製粉グループ本社])

**1. 2022 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.4<br>-7.5 | 山口/ UBE㈱ほか | 26<br>(51) | ダブルストレーラー・UBE-i-Plaza・工場見学と「粉体プロセスと材料開発」と題した講演会（集じん分科会と合同） |
| 2 | 2023.3.9<br>-3.10 | 台湾/GIS Taipei Tech Convention Center | 113 | 第 2 回日本・台湾ワークショップ（台湾セラミックス学会との共催）、見学会 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.27 | 東京/協会東京事務所 | 4 | 会計報告、事業計画確認、次回分科会計画 |
| 2 | 2022.7.5 | 山口/ANAクラウンプラザホテル宇部 | 10 | 第 1 回分科会反省、次回分科会計画 |
| 3 | 2022.12.2 | 東京/協会東京事務所 | 4 | 2023 年度事業計画 |
| 4 | 2022.12.8 | 東京/有明 PASTECA | 7 | 第 2 回本会合、2023 年度事業計画確認 |
| 5 | 2023.1.20 | 愛知/名鉄グランドホテル | 3 | 2023 年度分科会計画 |

（粉体技術者養成講座）教育部門

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2023.1.12-<br>1.13 | 広島/㈱広島メタル＆マシナリー | 15 | 粉砕とは？/粉砕装置の特徴、粉砕プロセスの理解/粉砕プロセス解析のための DEM シミュレーション/粉砕におけるトラブル対策/粉砕技術の応用と今後の展開/粉砕シミュレーション実習/粉砕機による粉砕実験/講義と実験の整理と発表 |

### 8.3 分級ふるい分け分科会

登録会員数 98 人

（松山達ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、所千晴副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、佐藤一彦代表幹事[晃栄産業㈱]、
直原健司副代表幹事[㈱日清製粉グループ本社]、吉田友一副代表幹事[関西金網㈱]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7 | 湿式分級と培養操作（佐竹マルチミクス） | － | コロナ感染拡大で次年度へ延期 |
| 2 | 2022.9.30 | 福岡/（株)アステック入江、(株)村上精機工作所 | 13<br>(32) | 「環境・リサイクル技術と粉体」をテーマに工場見学と講演会（輸送分科会と合同） |

（幹事会、小委員会）開催なし

### 8.4 乾燥分科会

登録会員数 91 人

（田門肇ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、立元雄治副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、飯田晃弘代表幹事[㈱大川原製作所]、佐藤澄人副代表幹事[月島機械㈱]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.12.8 | オンライン開催 | 30 | IDS（国際乾燥シンポジウム）における乾燥技術の動向と国内企業の最近取り組みをテーマとした講演会 |
| 当初、6 月に第1回分科会として見学講演会を企画していたが、コロナ感染防止対策を鑑み、中止とした。 | | | | |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.16 | オンライン開催 | 9 | 分科会世話人について、次回分科会計画 |
| 2 | 2022.8.30 | オンライン開催 | 8 | 次回分科会計画、粉体技術者養成講座 |
| 3 | 2023.1.19 | オンライン開催 | 8 | 2022 年度行事報告、役員交代、次回分科会計画 |
| 4 | 2023.3.14 | オンライン開催 | 11 | 2023 年度分科会計画、役員交代 |

（粉体技術者養成講座）教育部門

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 22.9.27,28 | （株）大川原製作所 | 10 | 乾燥技術の座学および実習を行った。 |

## 8.5 集じん分科会

登録会員数 226 人

（牧野尚夫ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、福井国博副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、中根幹夫代表幹事[新東工業㈱]、
中根隆一副代表幹事[アマノ㈱]）

### 1. 2022 年度の事業実績概要

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.4-5 | 山口/ UBE㈱ほか | 25<br>(51) | ダブルストレーラー・UBE-i-Plaza・工場見学と「粉体プロセスと材料開発」と題した講演会（粉砕分科会と合同） |
| 2 | 2023.3.1 | TKP 京都四条駅前<br>ｶﾝﾌｧﾚﾝｽｾﾝﾀｰ | 35 | 「集じん技術のさらなる進展を目指して」と題し、ISO 規格化に向けた3つの講演を実施 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.5 | 山口/ANAクラウンプラザホテル宇部 | 18 | 正副コーディネータ交代、幹事交代、次回分科会計画 |
| 2 | 2023.3.1 | TKP 京都四条駅前<br>ｶﾝﾌｧﾚﾝｽｾﾝﾀｰ | 13 | 2023 年度事業計画および予算説明、次回分科会計画 |

（粉体技術者養成講座）教育部門

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2023.12.13<br>～12.14 | ウインクあいち | 14 | 集じんの必要性と粒子分離の原則・評価法、各種集じん装置の概要と性能、電気集じん装置の特性と使用法、ろ過集じん装置の特性と設計法、局所排気装置の設計法、集じん装置の性能測定及びフード制御風速測定 |

## 8.6 混合・成形分科会

登録会員数 157 人

（藤正督ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、森隆昌副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、朝日正三代表幹事[㈱徳寿工作所]、
藤井淳副代表幹事[㈱栗本鐵工所]）

### 1. 2022 年度の事業実績概要

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.3 | 岩手/シオノギファーマ（株）金ケ崎工場 | 27 | 「医薬品連続生産の情報提供と医薬品製造工場の見学会」をテーマに工場見学と講演会 |
| 2 | 2022.11.24 | 東京/法政大学 小金井キャンパス | 17 | 「粉体成形の基礎から応用まで」をテーマに研究室の見学と講演会 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.7 | Web | 10 | 次回分科会計画、粉工展併催行事 |
| 2 | 2022.6.3 | 岩手 | 8 | 幹事増員、次回分科会計画、粉工展併催行事、粉体技術者養成講座 |
| 3 | 2022.9.1 | 京都 | 10 | 次回分科会計画、粉工展併催行事、粉体技術特集号、粉体技術者養成講座、分科会功労賞推薦 |
| 4 | 2022.11.24 | 東京 | 10 | 2022 年度行事最終確認、2023 年度分科会計画、粉体技術者養成講座 |

（粉体技術者養成講座）教育部門

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.10.27<br>～10.28 | 千葉/大平洋機工㈱ | 14 | 「混合・混練」の基礎及び各種装置概要の講義と実習 |

## 8.7 造粒分科会

登録会員数 499 人

（村瀬和典ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、武井孝副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、小泉一郎代表幹事[㈱ダルトン]、
岩松英敏副代表幹事[㈱奈良機械製作所]）

### 1. 2022 年度の事業実績概要

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.11.9 -11.10 | 大阪/(株)ダルトン イノベーションプラザ | 51 | 「基本的な造粒原理・造粒装置の理解と体験」をテーマとし小型研究機を用いた技術実習会 |
| 2 | 2023.3.3 | 東京/中央大学 | 37 | 「セラミックスの造粒手法と測定技術」 |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.19 | Web | 11 | 今年度分科会計画 |
| 2 | 2022.6.28 | 東京・Web | 11 | 今年度分科会計画、幹事交代 |
| 3 | 2022.8.5 | Web | 10 | 次回分科会計画 |
| 4 | 2022.11.10 | 大阪 | 11 | 技術実習会、技術討論会、来年度分科会計画 |
| 5 | 2022.3.2 | 東京 | 12 | 来年度分科会計画 |

### 8.8 計装測定分科会

登録会員数 146 人

(森康維ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、後藤邦彰副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、池田英幸代表幹事[スペクトリス㈱マルバーン・パナリティカル事業部]、阿川直樹副代表幹事[㈱セイシン企業] 、稲山良介副代表幹事[大塚電子㈱]

**1. 2021 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.9.20 | Web 開催 | 73 | 粉体技術者養成講座(分科会主催) |
| 2 | 2022.11.25-11.28 | Web 開催 | 20 (40) | 一日目:講演会「粒子懸濁液の特性評価の最新動向」<br>二日目:若手粉体技術者のレベルアップと育成を目的とした基礎講座<br>(微粒子ナノテクノロジー分科会と合同) |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.8 | Web | 8 | 次回分科会計画 |
| 2 | 2022.7.5 | Web | 7 | 次回分科会計画 |
| 3 | 2022.9.6 | Web | 6 | 次回分科会計画 |
| 4 | 2022.10.4 | Web | 8 | 次回分科会計画、新幹事就任 |
| 5 | 2022.11.17 | Web | 8 | 次回分科会運営準備 |

(粉体技術者養成講座)分科会

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.9.20 | Web 開催 | 73 | 計測の基礎としての動特性・静特性、測定における数理統計の基礎、粒子径測定についての基礎と各論、粉体特性評価法、粉体プロセスでの粉体の流動性と流量・レベル計測方法 |

### 8.9 湿式プロセス分科会

登録会員数 75 人

(岩田政司ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、菰田悦之副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、石川敏代表幹事[関西金網㈱])

**1. 2021 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.11.25 | 滋賀/(株)写真化学 | 23 | 公転自転撹拌脱泡装置、3D セラミック造形に関する工場見学と講演会 |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.29 | Web | 13 | 新体制について、粉工展併催行事、粉体技術者養成講座 |
| 2 | 2022.11.16 | Web | 13 | 次回分科会の準備、粉工展併催行事、粉体技術者養成講座、2023 年度分科会の計画 |
| 3 | 2023.2.21 | Web | 6 | 次回分科会の準備、次々回分科会の検討、2024 年度分科会の計画、粉体技術者養成講座の報告 |

(粉体技術者養成講座)教育部門

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2023.2.2<br>-2.3 | 大阪/関西金網(株) | 9 | 講義:ろ過の基礎理論、ろ過装置の特徴と使用法、ろ材の特徴と使用法、膜ろ過概論、粒子懸濁液の粘度と配管内の圧損解析<br>実習:定圧ろ過実験(実験、および収集データのまとめ方) |

### 8.10 輸送分科会

登録会員数 146 人

(田中敏嗣ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、武居昌宏副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、岸本武志代表幹事[三興空気装置㈱]、
松井哲也副代表幹事[アマノ㈱])

**1. 2021 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.9.30 | 福岡/ (株)アステック入江、(株)村上精機工作所 | 19<br>(32) | 「環境・リサイクル技術と粉体」をテーマに工場見学と講演会(輸送分科会と合同) |
| 2 | 2022.12.15 | 東京/日本大学理工学部駿河台校舎 | 17<br>(53) | 「空気輸送の基礎から近年の動向」をテーマに技術講演と製品紹介(粉体ハンドリング分科会と合同) |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.20 | Web | 6 | 第 1 回分科会計画 |
| 2 | 2022.6.17 | Web | 9 | 第 1/2 回次回分科会計画、粉体工業展粉体機器ガイダンスのすり合わせ、分科会テーマ検討 |
| 3 | 2022.9.8 | Web | 6 | 第 2 回分科会計画 |
| 4 | 2022.9.29 | 福岡県小倉 | 9 | 第 1 回分科会事前すり合わせ、第 2 回分科会進捗確認 |
| 5 | 2022.12.21 | Web | 8 | 2023 年度事業計画について |

### 8.11 クリーン化分科会

登録会員数 238 人

(並木則和ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、鍵直樹副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、林敏昭代表幹事[東洋紡㈱]、松田朋信副代表幹事[リオン㈱])

**1. 2022 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.11.2 | 愛知/トヨタ紡織(株) | 32 | 「モビリティ空間のクリーン化」をテーマに見学会と講演会 |

(幹事会、小委員会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.11.2 | 名古屋 | 12 | 第 1 回分科会反省、幹事交代連絡、次回分科会計画 |

### 8.12 環境エネルギー・流動化分科会

登録会員数 59 人

幡野博之ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、成瀬一郎副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、山本昌幸代表幹事[メタウォーター㈱]、細田博之副代表幹事[㈱神鋼環境ｿﾘｭｰｼｮﾝ])

**1. 2022 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.14 | 福島/第一原発、福島水素ｴﾈﾙｷﾞｰ研究ﾌｨｰﾙﾄﾞ他 | 16 | 福島県内のエネルギー関連設備の見学会 |
| 2 | 2022.8.9 | 三重・愛知/奈良機械製作所四日市工場、名古屋市上下水道局 | 23 | 流動層乾燥設備の製作工場見学と下水汚泥燃料化施設(空見 SRC)の見学会 |
| 3 | 2022.9.5 | 東京/中央大学＋WEB | 38 | 講演会:再生可能エネルギー利活用の在り方 |
| 4 | 2023.3.3 | 島根／出雲ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾝﾀｰ | 24 | 最新ごみ焼却設備の見学 |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.5 | Web | 10 | 今年度分科会活動内容検討 |
| 2 | 2022.8.31 | 東京 | 7 | ハイブリッド講演会予行演習 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 3 | 2022.12.16 | 東京 | 11 | 2023 年度分科会活動内容検討 |
| 4 | 2023.3.3 | 島根 | 11 | 2022 年度反省及び 2023 年度実施内容確認 |

### 8.13 晶析分科会

登録会員数　156　人

（白川善幸ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、正岡功士副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、伊藤雅章代表幹事[㈱ノリタケカンパニーリミテド]、金子雅哉副代表幹事[味の素㈱]）

**1．2021 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.8.24 | ドイツ/メッセフランクフルト、ハイブリッド | 39 | ACHEMA 併催行事：IPNF2022 海外分科会（粒子加工粉体シミュレーション・微粒子ナノテクと合同） |
| 2 | 2022.12.6 | 東京/同志社大学東京オフィス | 25 | 医薬品の連続合成について、最近のトレンド・合成装置、シミュレーションに関しての講演会 |
| 3 | 2023.3.17 | 東京/同志社大学東京オフィス | 20 | 海に纏わる CO2 フリー技術 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.6 | Web | 8 | 第 1 回分科会、東京粉工展粉体機器ガイダンス |
| 2 | 2022.10.3 | Web | 9 | 第 2 回分科会、東京粉工展粉体機器ガイダンス |
| 3 | 2023.1.6 | Web | 9 | 第 3 回分科会、2023 年度活動計画 |

### 8.14 微粒子ナノテクノロジー分科会

登録会員数　247　人

（渡邉哲ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、飯島志行副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、鳥居経芳代表幹事[スペクトリス㈱　マルバーン・パナリティカル事業部]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.8.23 | ドイツ/フランクフルトメッセ・ハイブリッド | 43 | ACHEMA 併催行事：IPNF2022 海外分科会（粒子加工粉体シミュレーション・晶析と合同） |
| 2 | 2022.11.25-11.28 | Web 開催 | 20<br>(40) | 一日目：講演会「粒子懸濁液の特性評価の最新動向」<br>二日目：若手粉体技術者のレベルアップと育成を目的とした基礎講座（計装測定分科会と合同） |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.4.22 | 京都 | 12 | 次回分科会計画 |
| 2 | 2022.11.28 | Web | 9 | 分科会運営手順確認他 |
| 3 | 2023.3.14 | 横浜 | 9 | 2023 年度活動計画 |

### 8.15 電池製造技術分科会

登録会員数　400　人

（境哲男ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、堤敦司副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、堀越勝代表幹事[㈱パウレック]、木村正人副代表幹事[㈱タナベ]、山田正副代表幹事[澁谷工業㈱]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.23 | 東京/ AP 東京八重洲・ハイブリッド | 133 | 最新の電池開発状況・今後の動向 |
| 2 | 2022.10.12 | 大阪/千里ライフサイエンスセンター | 137 | 電池業界を取り巻く状況や、次世代電池製造技術、材料技術に関する講演 |
| 3 | 2023.02.14 | 京都リサーチパーク 4 号館　バズホール | 190 | EU でのグリーン電池製造、次世代蓄電池の実用化、次世代正極及び負極材料の開発に関する講演 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.23 | 東京 | 13 | 次回分科会開催計画 |
| 2 | 2022.10.12 | 大阪 | 12 | 次回分科会開催計画 |
| 3 | 2023.02.14 | 京都 | 12 | 次年度分科会開催計画 |

### 8.16 リサイクル技術分科会

登録会員数 280 人

（大矢仁史ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、外川健一副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、齊藤陽代表幹事[㈱タナベ]、西村佳記副代表幹事[エステック㈱]、馬場一寿副代表幹事[㈱セイシン企業]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.9.7 | 静岡/(株)エコネコル他 | 44 | 「最新リサイクル技術（AI 搭載型選別設備 等）」と「LIB リサイクル技術」をテーマとしてリサイクル工場見学と講演会 |
| 2 | 2023.3.17 | 北九州/日本磁力選鉱（株） | 42 | 「廃二次電池自動選別システムの開発（仮）」をテーマとした講演と二次電池のリサイクル、AI を利用したソータの開発に関する施設見学 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.14 | Web | 7 | 第 1 回分科会、今年度分科会計画 |
| 2 | 2022.9.2 | Web | 7 | 次回分科会計画 |
| 3 | 2022.12.21 | 福岡/博多 | 9 | 次回分科会計画、2023 年度分科会計画 |
| 4 | 2023.1.10 | Web | 10 | 次回分科会計画 |
| 5 | 2023.3.17 | 福岡/北九州 | 11 | 次回分科会計画 |

### 8.17 食品粉体技術分科会

登録会員数 219 人

（羽倉義雄ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、五月女格副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、野村光生代表幹事[㈱日清製粉グループ本社]、
西村元樹副代表幹事[㈱西村機械製作所]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.12.2 | 広島/(株)サタケ | 24 | 「AI 技術の活用」をテーマとした講演会と次世代型精米プラントと選別加工総合センターの見学会 |
| 2 | 2023.1.27（予定） | 福岡/（株）安川電機 | (50) | 「食品製造事業における自動化・省人化」をテーマとした講演会とロボット村「みらい館」「ロボット工場」の見学会。 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.5.23 | Web | 7 | 幹事交代・次回分科会計画 |
| 2 | 2022.12.21 | Web | 6 | 第1回分科会活動の振返り、次回分科会計画、次年度分科会活動計画 |

### 8.18 粒子加工技術分科会

登録会員数 177 人

（竹内洋文ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、岩本清副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、浅井直親代表幹事[㈱ダルトン]、
伊藤有一副代表幹事[信越化学工業㈱]）

**1．2022 の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.8.23 | ドイツ/フランクフルトメッセ・ハイブリッド | 52 | ACHEMA 併催行事：IPNF2022 海外分科会（粒子加工粉体シミュレーション・晶析と合同） |
| 2 | 2022.10.25 | Web 開催 | 120 | シオノギファーマ(株)のバーチャル工場見学と講演会 |
| 3 | 2023.3.3 | Web 開催 | 41 | 連続生産 |

| | | | (72) | 粉体シミュレーション技術利用分科会と合同 |
|---|---|---|---|---|

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.5.11 | Web | 17 | 次回分科会計画 |
| 2 | 2022.8.31 | Web | 15 | 次回分科会計画 |
| 3 | 2022.11.14 | Web | 13 | 次回分科会計画・粉体技術者養成講座 |
| 4 | 2023. 2.27 | Web | 16 | 次回分科会計画 |

(粉体技術者養成講座)教育部門

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | 講座概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.11.1-2 | フロイント産業 | 7 | 粒子加工概説/粒子加工のための装置/造粒メカニズム/成形メカニズム/機能化のための粒子加工/粒子加工の実際 ガイダンス/実習 |

### 8.19 粉体シミュレーション技術利用分科会

登録会員数 261 人

(酒井幹夫ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、石神徹副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、
島田憲成代表幹事[㈱構造計画研究所]、小澤和三副代表幹事[日清エンジニアリング㈱])

**1. 2022 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.8.23 | ドイツ/フランクフルトメッセ・ハイブリッド | 46 | ACHEMA 併催行事:IPNF2022 海外分科会(粒子加工・微粒子ナノテクノロジー・晶析と合同) |
| 2 | 2022.12.8 | 東京/東京ビッグサイト | 111 | 国際粉体工業展東京2022の併催イベント<br>講演会「新しい価値創出に貢献する粉体シミュレーション」と「粉体シミュレーション出展社プレゼンテーション」 |
| 3 | 2023.3.3 | Web | 31<br>(70) | 連続生産をテーマに粒子加工技術分科会と合同分科会 |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.21 | Web | 20 | 幹事交代、次回分科会計画 |
| 2 | 2022.10.20 | Web | 17 | 幹事交代、次回分科会計画 |
| 3 | 2022.12.8 | ハイブリッド | 19 | 次回分科会計画 |
| 4 | 2023.3.28 | Web | 20 | 次回分科会計画 |

### 8.20 粒子積層技術分科会

登録会員数 247 人

(山村方人ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、瀬戸章文副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、中尾修也代表幹事[㈱村田製作所]、
中村圭太郎副代表幹事[㈱日清製粉グループ本社])

**1. 2022 年度の事業実績概要**

1－1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.4 | 茨城/産業技術総合研究所 | 30 | 「粒子噴射積層と全固体電池への応用」をテーマに施設見学と講演会 |
| 2 | 2023.1.26 | 東京/東京スカイツリーイーストタワー | 35 | 「スラリー評価技術と湿式成膜プロセスにおける計算科学の活用」をテーマとし、湿式塗布・成膜に関する講演と(株)アントンパール・ジャパンの見学 |

(幹事会)

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.6.2 | Web | 9 | 次回分科会計画 |
| 2 | 2022.6.28 | Web | 8 | 次回分科会計画 |
| 3 | 2022.11.10 | Web | 8 | 2022 年度上期会計報告、次回分科会計画 |

### 8.21 バイオ粒子プロセス分科会

登録会員数 79 人

（野村俊之ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、荻崇副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ、片山和彦代表幹事[日本たばこ産業㈱]、
秋山聡副代表幹事[日清エンジニアリング㈱]）

**1．2022 年度の事業実績概要**

1－1．実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

（分科会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.27 | 延期 | － | 「撹拌技術のバイオおよび分級分野への応用」をテーマに撹拌技術に関する最先端研究設備の見学とバイオリアクターと湿式分級の講演会 |
| 2 | 2023.2.1 | 千葉/㈱竹中工務店　竹中技術研究所 | 20 | 「室内の各種浮遊物質の発生源の特定、評価手法、及び対策方法に関する取り組み」をテーマとし、浮遊粒子の可視化、ハザード物質封じ込めに対応した最先端の研究設備の見学と関連する講演会 |

（幹事会）

| 回 | 日程 | 場所 | 人数 | テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.7.13 | Web | 8 | 次回分科会計画 |
| 2 | 2023.1.17 | Web | 8 | 次回分科会計画 |
| 3 | 2023.2.1 | 千葉 | 7 | 自己紹介、分科会連絡会議報告、次回分科会計画 |

## 9．粉体工業技術センター （牧野尚夫センター長、前田孝善副センター長）

### 9.1 教育部門 （松坂修二マネジャー、白川善幸、藤井淳各副マネジャー）

2022 年度の教育部門の活動状況は、下表のとおりである。教育部門会議は 11 月に開催し、活動内容を確認した。また、2023 年度の粉体入門セミナーの開催方式、講義内容、講師を決定し、粉体技術者養成講座の計画をチェックした。

1．2022 年度の事業実績概要

| 講座名とタイトル | | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 粉体入門セミナー(Ⅰ)（第 65 回） | | 2022.6.2～3 | Web セミナー | 53 |
| 粉体入門セミナー(Ⅱ)（第 66 回） | | 2022.6.21～22 | Web セミナー | 45 |
| 粉体入門セミナー(Ⅲ)（第 67 回） | | 2022.7.6～7 | Web セミナー | 48 |
| 粉体技術者養成講座 | 乾燥 | 2022.9.27～28 | 静岡/㈱大川原製作所 | 10 |
| | 混合・混練 | 2022.10.27～28 | 千葉/大平洋機工㈱ | 14 |
| | 粒子加工 | 2022.11.1～2 | 浜松/フロイント産業㈱ | 7 |
| | 集じん | 2022.12.13～14 | 名古屋/ウインクあいち | 14 |
| | 粉砕 | 2023.1.12～13 | 広島/㈱広島メタル＆マシナリー | 15 |
| | ろ過 | 2023.2.2～3 | 1 日目：Web 講座<br>2 日目：大阪/関西金網㈱ | 9 |
| 第 71 回粉体技術専門講座<br>粉体ハンドリング技術<br>～粉体物性・供給・輸送・粉体プロセス～ | | 2023.2.22 | 東京/日本大学理工学部　駿河台校舎　タワースコラ 2 階 S204 教室 | 43 |
| 粉じん爆発・火災安全研修<br>[初級・基礎編] | | 2022.9.13～14 | Web 講座 | 109 |
| 粉じん爆発・火災安全研修<br>[中級・技術編] | | 2023.3.9～10 | Web 講座 | 89 |

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022.11.28 | 京都/協会本部会議室 | 10 | 1.2022 年度事業計画　進捗状況の報告<br>2.粉体入門セミナー開催方法・内容などの検討<br>3.粉体技術者養成講座内容の確認<br>4.2023 年度事業計画　起案<br>5.教育部門チラシ内容確認 |

### 9.2 製造事業部門 （前田孝善マネジャー）

1. 2022 年度の事業実績概要

1-1 売上高・支出の推移 （単位：千円）

| | 2021 年度実績 | 2022 年度予算 | 2022 年度実績予想 |
|---|---|---|---|
| 売上(千円) | 73,684 | 88,000 | 90,000 |
| 売上前年度比（%） | 88.4 | 119.4 | 122.1 |
| 事業費(支出、千円) | 53,522 | 60,260 | 62,653 |
| 収支差（千円） | 26,162 | 27,740 | 27,347 |

1-2 2022 年度の重要項目の状況

1)実績予想

売上 90,000 千円（予算比 102.3%、前年度比 122.1%）、利益（収支差）27,347 千円（予算比 98.6%、前年度比 104.5%）と予想している。

2)準粉体販売価格の改定

3)標準粉体1－7, 8, 11 関東ロームの販売

### 9.3 産学技術交流推進部門 （後藤邦彰マネジャー、三宅康雄副マネジャー）

1. 2022 年度の事業実績概要

1）技術相談

2022 年度 申込み数 24 件（うち面談に発展 15 件 うち 技術指導へ移行 0 件）

2）APPIE 産学官連携フェア

国際粉体工業展大阪の併催行事で、隔年開催のため、2022 年度は開催なし。

3）粉体技術セミナー

ベストシーズ講演会を国際粉体工業展東京2022の併催行事として開催。

| 講座名 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 技術シーズ賞受賞記念講演会 | 2022.12.8(木) | 東京/東京ビッグサイト | 61 名 |

2.実施した会合、会議

| 回 | 月・日 | 場所 | 人数 | 議題 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2021.6.14 | 京都/協会本部会議室<br>Web 会議 | 8 | 1.APPIE 産学官連携フェア 2021&テクノプラザ～名刺交換会～ シーズ発表内容確認、開催方法検討<br>2.技術相談状況確認 |
| 2 | 2021.11.22 | Web会議 | 9 | 1.ベストシーズ講演会（技術シーズ賞受賞記念講演会）、テクノプラザ～産学官技術交流会～ 事前確認<br>2.APPIE 産学官連携フェア 2023 について（スケジュール、会場レイアウト、シーズ募集方法・要項などの検討）<br>3.産学技術交流推進部門 2023 年度事業計画案 |
| 3 | 2022.3.14 | 京都/協会本部会議室 | 9 | 1.委員会・部門連絡会議報告<br>2.ベストシーズ講演会、テクノプラザ報告<br>3.APPIE 産学官連携フェア 2023 内容検討<br>4.技術相談報告 |

## 10. 技術情報交流懇話会

### 10.1 火曜会（東京）

| 回 | 日程 | 当番会社 | 出席者数 | 場所 | 講 演 題 目 | 講 師 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 296 | 2022.4.12 | アマノ㈱ | 71 | 東京ガーデンパレス | 「企業と個人が実践的に取り組む SDGs のコツ」 | ㈱ビジネスコンサルタント 上級フェロー役員 川本芳裕氏 |
| 297 | 2022.7.12 | ㈱アーステクニカ | 93 | 同上 | 「二次電池の再資源化事業について」 | 日本リサイクルセンター㈱ 代表取締役 増田耕一氏 |
| 298 | 2022.10.11 | (株)静岡プラント | 73 | 同上 | 「予測技術の展開 シミュレーションと機械学習」 | 九州大学情報基盤研究開発センター 教授 小野謙二氏 |
| 299 | 2023.1.17 | (株)日刊工業新聞社 | 84 | 同上 | 「SNSや動画で売れてる会社は何が違う？！～自分で技術や製品を世界に売り込めます～」 | シーズメディア 代表 鎮目博道 氏 |

### 10.2 水曜会（名古屋）

| 回 | 日程 | 当番会社 | 出席者数 | 場所 | 講 演 題 目 | 講　師 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 70 | 2022.6.15 | (株)マキノ | 38 | 名鉄グランドホテル | 「トヨタウォーズ裏側－記者が見た地上戦」 | 中日新聞社 編集局経済部 論説委員・記者 長田弘己氏 |
| 71 | 2022.10.19 | ツカサ工業(株) | 43 | 同上 | 「医薬品開発における AI 活用の現状と今後の展望」 | 愛知学院大学薬学部製剤学講座教授 山本浩充氏 |
| 72 | 2023 2.15 | 晃栄産業(株) | 37 | 同上 | 「乾燥機に関するトピックス」 | 静岡大学学術院工学領域化学バイオ工学系列工学部化学バイオ工学科准教授 立元雄治氏 |

### 10.3 木曜会（大阪）

| 回 | 日程 | 当番会社 | 出席者数 | 場所 | 講 演 題 目 | 講　師 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 223 | 2022.5.12 | (株)西村機械製作所 | 71 | ANA クラウンプラザホテル大阪 | 「熱いハートを燃やせ～私のサッカー人生～」 | (公財)日本サッカー協会 元副会長 釜本邦茂氏 |
| 224 | 2022.9.15 | アイシン産業(株) | 58 | 同上 | 「健康経営のすすめ～働き方改革における新経営手法」 | フューチャーアシスト㈱ 代表取締役 池田雅彦氏 |
| 225 | 2022.12.15 | ハカルプラス(株) | 74 | 同上 | 「UHA 味覚糖の新規事業開拓」 | ユーハ味覚糖㈱ 代表取締役社長 山田泰正氏 |

### 10.4 金曜会（福岡）

| 回 | 日程 | 当番会社 | 出席者数 | 場所 | 講 演 題 目 | 講　師 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 68 | 2022.7.8 | (株)田中三次郎商店 | 33 | 福岡ガーデンパレス | 「ウクライナ侵攻におけるロシアの試み」 | 米中外交史研究家 竜口英幸氏 |
| 69 | 2022.12.2 | ホーコス(株) | 38 | 広島ガーデンパレス | 「メンタルヘルスが必要な理由」 | 鎗田労働衛生コンサルタント事務所・医師 鎗田圭一郎氏 |
| 70 | 2023 3.10 | シンフォニアテクノロジー㈱ | 28 | 福岡ガーデンパレス | 「企業による CSR・SDGsの取り組み～KOBELCOグループの事例～」 | 株式会社神戸製鋼所 九州支店長 関清重氏 |

## 11. 共催・協賛および後援行事（2022.4.1～2023.3.31）

### 11.1 共催 1 件

| 行事名 | 開催日 | 開催場所 | 主催団体 |
|---|---|---|---|
| 第56回技術討論会 | 2022.9.1～9.2 | 京都/同志社大学 | (一社)粉体工学会 |

### 11.2 協賛 26 件

| 行事名 | 開催日 | 開催場所 | 主催団体 |
|---|---|---|---|
| 産学人材育成パートナーシップ事業 | 2022.5～2023.2 | 東京、千葉、オンライン開催 | (公社)化学工学会 |
| 色材セミナー | 2022.6.8 | オンライン開催 | (一社)色材協会 関西支部 |
| 色材分散講座 | 2022.7.6 | オンライン開催 | (一社)色材協会 関西支部 |
| 第 19 回技術講演会 | 2022.7.16～7.17 | 大阪/大阪府立国際会議場 | 新製剤技術とエンジニアリングを考える会 |
| 第 40 回関西界面科学セミナー | 2022.7.30 | オンライン開催 | 日本化学会コロイドおよび界面化学部会関西支部 |
| 粒子・流体プロセス技術コース2022 | 2022.8.1～2023.2.28 | 各サテライト実習実施機関（九州工業大学、東京高専、新潟大学） | (公社)化学工学会 粒子・流体プロセス部会流動層分科会 |
| 第 39 回エアロゾル科学・技術研究討論会 | 2022.8.3～8.5 | 東京/慶應義塾大学 | 日本エアロゾル学会 |
| 第4回プロフェッショナルセミナー | 2022.8.5 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 先端技術を支える単位操作シリーズ「粉体技術の最前線」 | 2022.8.19 | 大阪/ホソカワミクロン㈱ | (公社)化学工学会 関西支部 |
| 第 63 回顔料入門講座 | 2022.8.25～8.26<br>2022.9.1～9.2 | オンライン開催 | (一社)色材協会 |
| 2022 年度アンコール講演会「進歩し続ける塗装技術(Ⅲ)」 | 2022.9.2 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |
| INTERMEASURE2022 | 2022.9.14～9.16 | 東京/東京ビッグサイト | (一社)日本計量機器工業連合会 |
| 第 13 回塗装入門講座 | 2022.10.6～10.7 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |
| 第 8 回コアリション・コンファレンス | 2022.10.7 | 仙台/東北大学 | (一財)光科学イノベーションセンター |
| 2022 年度第 2 回講演会 | 2021.11.12 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |
| 第 2 回講演会 | 2022.11.18 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |
| 第 5 回プロフェッショナルセミナー | 2022.12.2 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |
| プラントショー OSAKA 2022 | 2022.12.7～12.9 | 大阪/インテックス大阪 | (公社)化学工学会<br>(一社)日本能率協会 |
| Salt & Seawater Science Seminar 2022 | 2022.12.8 | オンライン開催 | (公財)塩事業センター 海水総合研究所 |
| 第 59 回技術討論会 | 2022.12.21～12.23 | 京都/kokoka 京都市国際交流会館 | 第 59 回粉体に関する討論会実行委員会 |
| 第 40 回コロイド・界面技術シンポジウム | 2023.1.26～1.27 | オンライン | (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会 |
| 共通基盤技術シンポジウム 2023 | 2023.1.27 | 東京/東京大学 武田先端知ビル武田ホール・ハイブリッド開催 | (公社)化学工学会 材料・界面部会 |
| 2022 年度第 3 回講演会 | 2023.2.3 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |
| 色材マテリアル講座 | 2023.2.8 | オンライン開催 | (一社)色材協会 関西支部 |
| 第 32 回顔料分散講座 | 2022.2.10 | オンライン開催 | (一社)色材協会 |
| 第 38 回塗料・塗装研究発表会 | 2023.3.3 | オンライン開催 | (一社)日本塗装技術協会 |

11.3 後援 1 件

| | | | |
|---|---|---|---|
| 情報連携と無人選別システムが創る次世代資源循環 | 2022.12.6 | オンライン開催 | (国研)産業技術総合研究所 |

## 12. 刊行物

12.1 「粉体技術」

編 集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会
発 行 (一社)日本粉体工業技術協会
月刊誌 (1,500 円・税別) (A4 版 約 100 ページ 約 1,500 部/月)

12.2 日本粉体工業技術協会 事業案内(和文 2022 年度版) A4 版 15 ページ

編 集／発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発 行 2022 年 11 月(400 部)

12.3 第 65 回粉体入門セミナーⅠ テキスト

主 催 (一社)日本粉体工業技術協会
共 催 (一社)粉体工学会(企画)
協 賛 (公社)化学工学会
発 行 2022 年 6 月 2 日(A4 版/167 ページ/65 部)

12.4 第 66 回粉体入門セミナーⅡ　テキスト
主　催　（一社）日本粉体工業技術協会
共　催　（一社）粉体工学会（企画）
協　賛　（公社）化学工学会
発　行　2022 年 6 月 21 日（A4 版/168 ページ/57 部）

12.5 第 67 回粉体入門セミナーⅢ　テキスト
主　催　（一社）日本粉体工業技術協会
共　催　（一社）粉体工学会（企画）
協　賛　（公社）化学工学会
発　行　2022 年 7 月 6 日（A4 版/212 ページ/57 部）

12.6 粉体技術者養成講座　第 4 回[集じん]
主　催　（一社）日本粉体工業技術協会
協　賛　（公社）化学工学会
発　行　2022 年 12 月 13 日（A4 版/107 ページ/23 部）

12.7 粉体技術者養成講座　第 5 回[粉砕]
主　催　（一社）日本粉体工業技術協会
協　賛　（公社）化学工学会
発　行　2023 年 1 月 12 日（A4 版/87 ページ/32 部）

12.8 粉体技術者養成講座　第 6 回[ろ過]
主　催　（一社）日本粉体工業技術協会
協　賛　（公社）化学工学会
発　行　2023 年 2 月 2 日（A4 版/173 ページ/22 部）

12.9 粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】および【中級/応用編】 ppt 資料印刷
主　催　（一社）日本粉体工業技術協会/（独）労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
企　画　（一社）日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会
後　援　（公社）産業安全技術協会
発　行　初級 2022 年 9 月 13 日（A4 版/156 ページ/150 部）
中級　2023 年 3 月　9 日（A4 版/123 ページ/130 部）